

# Yamashin Paradigm Shift—アフターコロナの世界を見据えて

環境・空気・健康への取り組み加速

ヤマシンフィルタ株式会社  
2020年3月期  
決算説明資料

東証一部

6240

2020年5月22日

## ヤマシングループは、取引関係者、株主の皆様、従業員とその家族の安全と健康を第一とし、 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めています

### 勤務体制 3月2日（月）より、勤務体制に柔軟な対応を継続して実施

従業員自身に健康状態に異変があった際、また感染した方の濃厚接触者と特定された場合は出勤禁止、医療機関等の指示を厳守することを通知・徹底し、社員の健康・安全、安心を確保しております。

#### ① 在宅勤務の原則化

本社（横浜市中区）、横浜開発センタ（横浜市磯子区）、横須賀メディアラボ（横須賀市）、アクシー（大阪市・東京都中央区）において、在宅勤務（実施率 81%）

#### ② 時差出勤等の励行

公共交通機関の使用を禁止し、業務の性質上在宅勤務が困難である従業員に限り、時差出勤を実施

#### ③ 海外現地法人での勤務体制

各国政府の指示に基づく感染症抑止策に従い、柔軟な勤務体制を適用

#### ④ その他

当社グループの全施設で入口に消毒液を設置し、手指の消毒を徹底  
不急の会議、会合、研修、イベント等の開催や会食は禁止  
国内出張、海外出張ともに、禁止

### 生産体制

BCPに基づき、各拠点（セブ、佐賀、蘇州<sup>※生産委託</sup>）において生産量の調整を実施し、代替生産体制を整備

**セブ工場** 所在地にて、3/15より外出禁止令が発令（現在も継続中）。行政より稼働調整の要請を受け、生産量を佐賀工場、蘇州工場<sup>※生産委託</sup>へ移管

**佐賀工場** 新型コロナウイルス感染症拡大による大きな影響がなく、セブ工場からの移管生産へ対応

**蘇州工場** 江蘇州蘇州市に所在。2/17より操業が再開し、生産体制を回復。セブ工場からの移管生産へ対応

※生産委託

### 業績への影響

経済活動の停滞による先行きの不透明さを背景に、保守的な計画を策定

**中国市場** 経済活動が順次再開され始め、政府主導による公共投資の増加が見込まれる。主要顧客の生産計画は増加基調が継続

**その他市場** 生産体制は順次回復していくことが見込まれるも、先行きの不透明さは払しょくされない。需要の回復にはある程度の時間が必要

20年3月期における事業環境・当社取り組みについて

事業環境

- **新型コロナウイルスの急激な感染拡大により、各国の経済活動は停滞**
- 日本・北米・欧州・アジアの建機需要の需要は減少
- 世界最大の建機市場である中国において、**中国建機メーカーの市場占有率拡大**、日系メーカー中心とした**主要得意先各社のシェアは大幅に縮小し**、油圧ショベルの新車販売台数は過去最高23万台を記録
- 各国で経済活動の再開を模索する中、中国市場においては、回復の兆しを見せており、今後、公共投資や第4次環境規制に向けた新車需要が想定される

当社取り組み

取組み詳細はP2記載

建機用フィルタビジネス

- 中国系建機メーカーへの採用率向上、アフターマーケット進出
- 北米市場のシェア拡大
- 新素材やIoT技術による高付加価値フィルタ製品ラインナップ拡充

エアフィルタビジネス

- ナノファイバー製エアフィルタの普及

第3の事業ポートフォリオ確立 「YAMASHIN Nano Filter™」展開

- アパレル向け素材供給開始
- 高性能マスク・取り換えシート製品化、量産体制整備



20年3月期業績動向

- **連結売上高：前年同期比8.2%減収の12,674(百万円)**
  - 建機用フィルタ売上高は中国及び東南アジア市場における主要得意先の更なるシェア縮小および新型コロナウイルス感染拡大による各国の経済活動停滞の影響により、**前年同期比18.2%減収の11,296(百万円)**
  - エアフィルタ売上高は第3四半期より貢献し**1,377(百万円)**
- 営業利益：売上高減少及び先行投資に伴う費用負担増加により、**前年同期比60.4%減益の777(百万円)**



## 21年3月期の当社取り組みについて

「アフターコロナ」に備え、生産体制を正常化、新規事業の芽を育てる。

### 建機用ビジネス

#### 中国系建機メーカーへの採用率向上

- 政府主導の公共事業投資、第4次環境規制対応新機種開発を背景に、引き続き中国系建機メーカーへの採用拡大に向けた活動加速

#### 中国補給品市場への進出

- 中国系建機メーカー保証期間終了後のアフターマーケットに対し、当社補給製品の供給を開始、シェア拡大を目指す

#### 北米市場のシェア拡大

- 当社主力製品であるリターンフィルタに加え、燃料用、トランスミッション用フィルタ等の新規採用提案が進展

#### 新素材やIoT技術を活かした高付加価値フィルタ製品ラインナップの拡充

- ナノファイバー製ロングライフフィルタ、エアレーション技術、センサ技術を搭載したフィルタ製品の主要得意先への展開を実施

### エアフィルタビジネス

#### ナノファイバー製エアフィルタの普及

- 低圧損で高捕集率のナノファイバー製エアフィルタのオフィスビル、工場、家電等への普及による製品差別化並びに付加価値向上による収益拡大を目指す

### 第3の事業ポートフォリオ確立「YAMASHIN Nano Filter™」の展開

#### アパレルビジネス展開

- 国内外大手アパレルメーカーへの当社製品供給拡大を目指す

#### ヘルスケアビジネス展開

- 未知の感染症、大気汚染への健康不安等の社会課題を解決する高性能マスク関連製品の開発、供給体制の整備

I

2020年3月期実績及び2021年3月期通期見通し

P5

II

建機市場を取り巻く環境

P31

III

今後の戦略

P39





I

# 2020年3月期実績及び 2021年3月期通期見通し

# 2020年3月期 第4四半期業績（2020年1月~3月）

---





(単位：百万円)	2019/3期	2020/3期	前年同期比	
	Q4 実績	Q4 実績	増減	
	金額	金額	金額	%
売上高	3,221	3,487	266	8.3%
建機用フィルタ	3,221	2,797	△423	△13.1%
エアフィルタ	0	689	689	-
営業利益	365	177	△188	△51.5%
建機用フィルタ	365	123	△242	△66.2%
エアフィルタ	-	53	53	-
<b>営業利益率</b>	<b>11.3%</b>	<b>5.1%</b>	<b>△6.3Pt</b>	
経常利益	356	101	△255	△71.5%
<b>経常利益率</b>	<b>11.1%</b>	<b>2.9%</b>	<b>△8.2Pt</b>	
当期純利益	273	262	△10	△3.9%
<b>純利益率</b>	<b>8.5%</b>	<b>7.5%</b>	<b>△1.0Pt</b>	
為替レート AR USD	110.2	109.0	△1.2	△1.1%
EUR	125.2	120.2	△5.0	△4.0%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます  
 ※実績為替レートは期中平均の値です

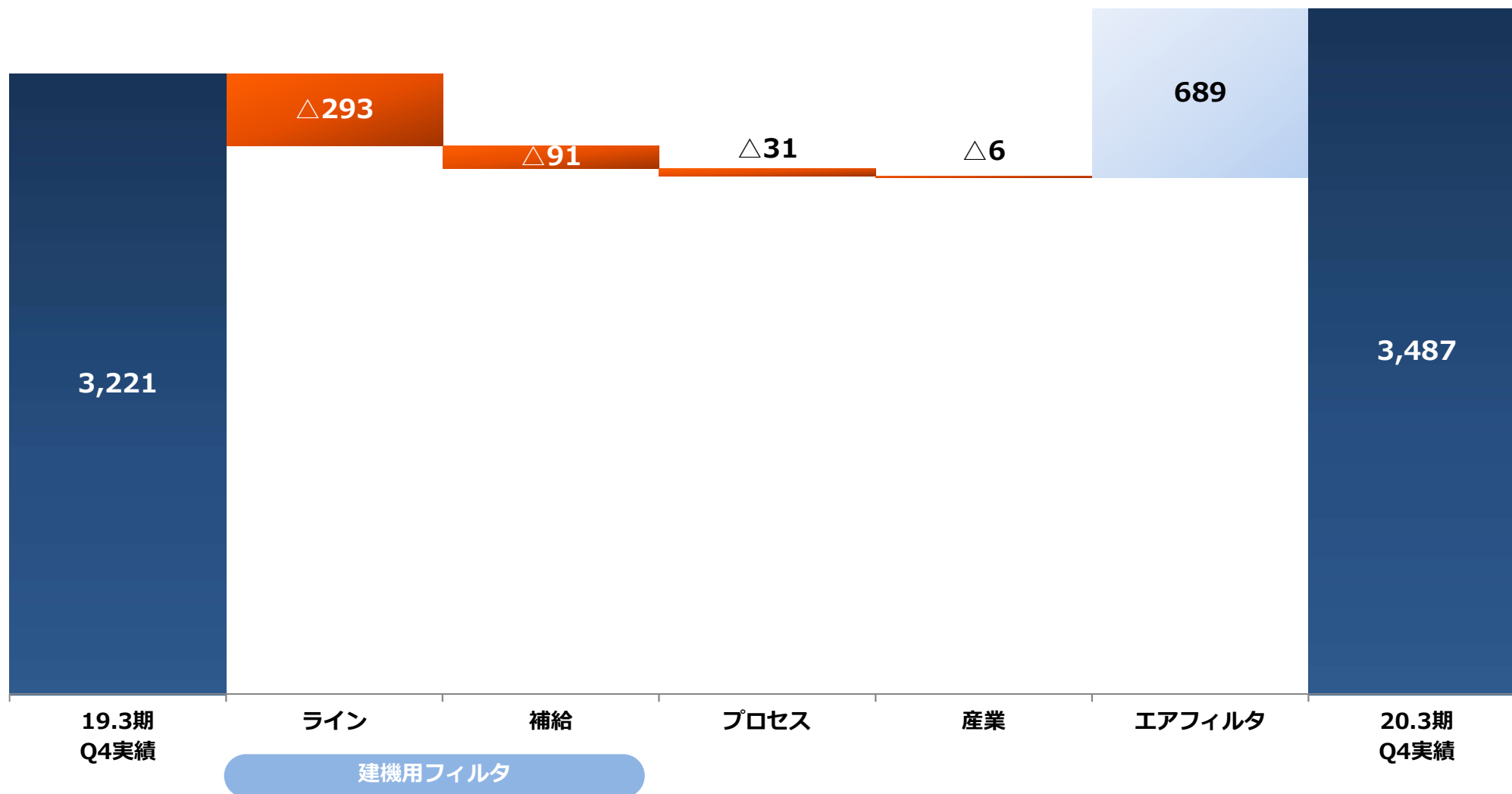


	2019/3期	2020/3期	前年同期比	
	Q4 実績	Q4 実績	増減	
(単位：百万円)	金額	金額	金額	%
建機用フィルタ	2,821	2,437	△384	△13.6%
ライン品	1,298	1,005	△293	△22.6%
補給品	1,523	1,432	△91	△6.0%
産業用フィルタ	129	122	△6	△5.3%
プロセス用フィルタ	269	237	△31	△11.8%
エアフィルタ	-	689	689	-
売上高合計	3,221	3,487	266	8.3%

	2019/3期 Q4 実績		2020/3期 Q4 実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減比 (%)
(単位：百万円)						
国内 建機用フィルタ	1,518	47.1%	1,368	39.2%	△150	△9.9%
北米	553	17.2%	526	15.1%	△26	△4.8%
中国	466	14.5%	294	8.4%	△172	△36.9%
アジア	350	10.9%	331	9.5%	△19	△5.4%
欧州	331	10.3%	276	7.9%	△55	△16.8%
その他 (中東他)	0	0.0%	0	0.0%	0	56.2%
建機用フィルタ 計	3,221	100.0%	2,797	80.2%	△423	△13.1%
国内 エアフィルタ	-	-	689	19.8%	689	-
<b>売上高合計</b>	<b>3,221</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,487</b>	<b>100.0%</b>	<b>266</b>	<b>8.3%</b>

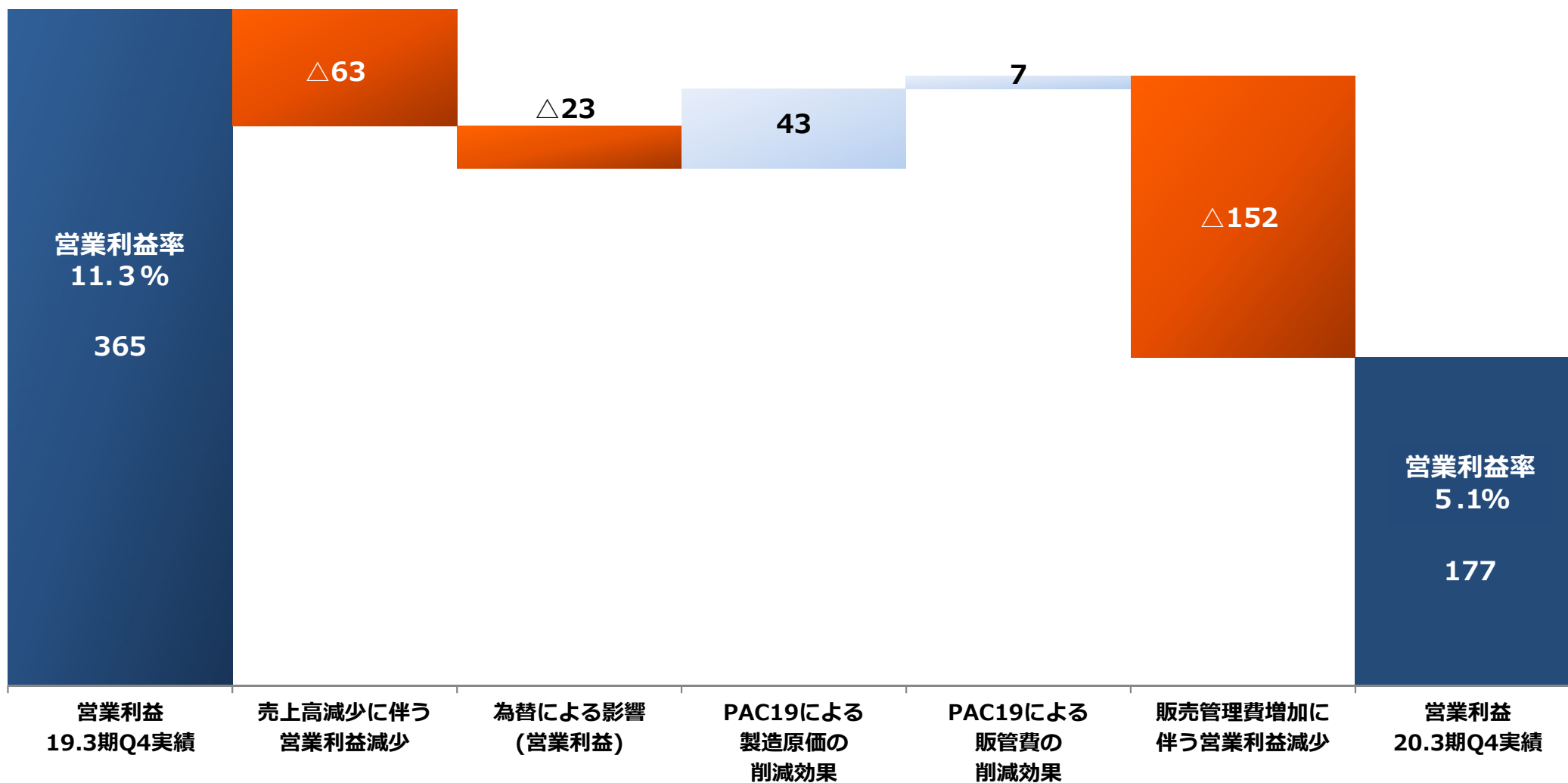
※当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます  
 ※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

(単位：百万円)





(単位：百万円)



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

# 2020年3月期 業績 (2019年4月~2020年3月)

---



	2019/3期	2020/3期	前期比	
	実績	実績	増減	
(単位：百万円)	金額	金額	金額	%
売上高	13,811	12,674	△1,136	△8.2%
建機用フィルタ	13,811	11,296	△2,514	△18.2%
エアフィルタ	-	1,377	1,377	-
営業利益	1,963	777	△1,185	△60.4%
建機用フィルタ	1,963	654	△1,308	△66.7%
エアフィルタ	-	122	122	-
<b>営業利益率</b>	<b>14.2%</b>	<b>6.1%</b>	<b>△8.1Pt</b>	
経常利益	1,915	603	△1,312	△68.5%
<b>経常利益率</b>	<b>13.9%</b>	<b>4.8%</b>	<b>△9.1Pt</b>	
当期純利益	1,413	608	△805	△57.0%
<b>純利益率</b>	<b>10.2%</b>	<b>4.8%</b>	<b>△5.4Pt</b>	
為替レート AR USD	110.9	108.8	△2.2	△1.9%
EUR	128.4	120.8	△7.6	△5.9%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます  
 ※実績為替レートは期中平均の値です

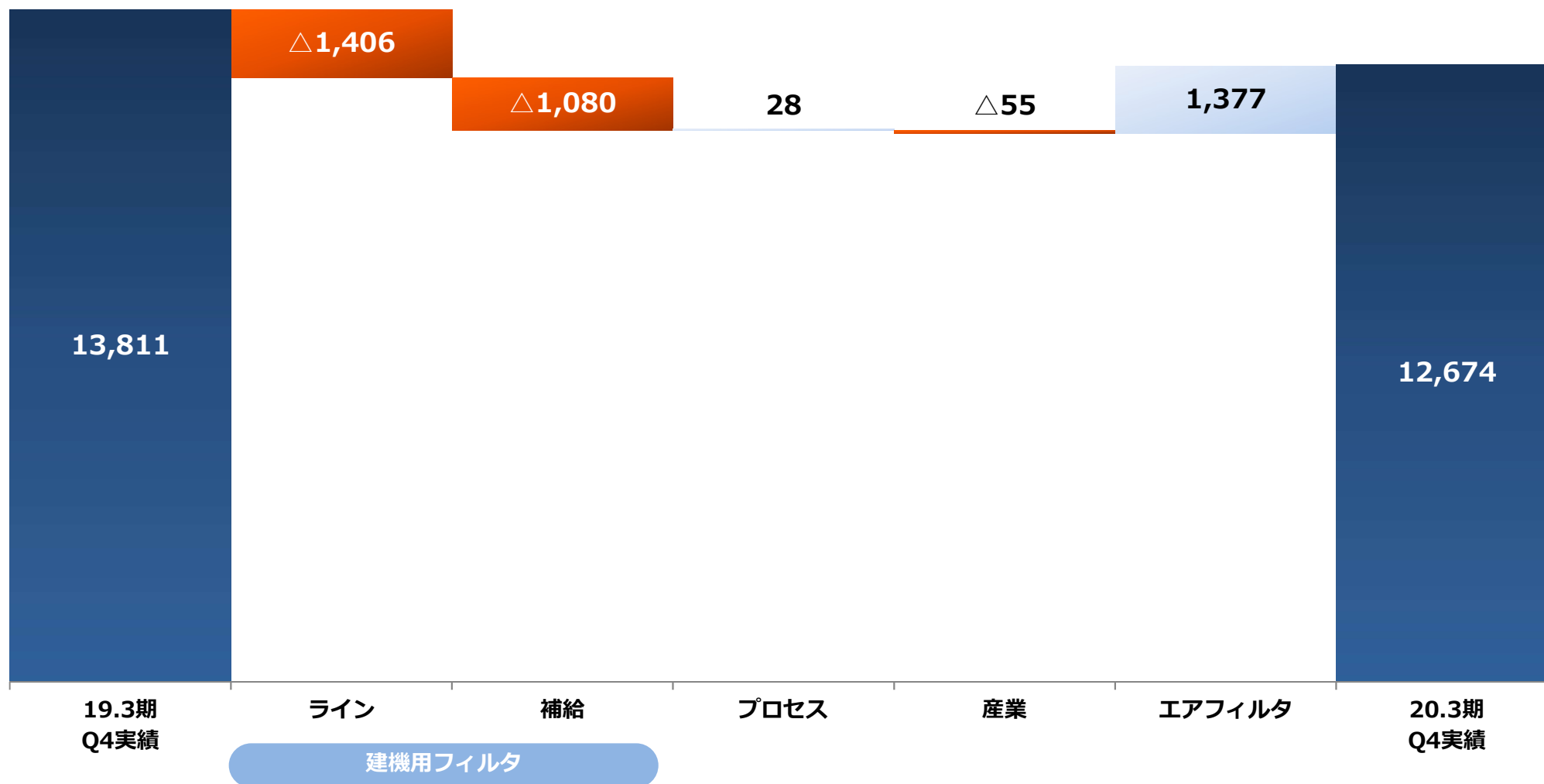


	2019/3期	2020/3期	前期比	
	実績	実績	増減	
(単位：百万円)	金額	金額	金額	%
建機用フィルタ	12,353	9,866	△2,486	△20.1%
ライン品	5,535	4,129	△1,406	△25.4%
補給品	6,817	5,737	△1,080	△15.8%
産業用フィルタ	548	492	△55	△10.2%
プロセス用フィルタ	909	937	28	3.1%
エアフィルタ	-	1,377	1,377	-
売上高合計	13,811	12,674	△1,136	△8.2%

	2019/3期 実績		2020/3期 実績		前期比 増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減比 (%)
(単位：百万円)						
国内 建機用フィルタ	6,541	47.4%	5,420	42.8%	△1,120	△17.1%
北米	2,253	16.3%	2,313	18.3%	60	2.7%
中国	1,813	13.1%	1,173	9.3%	△640	△35.3%
アジア	1,741	12.6%	1,319	10.4%	△422	△24.2%
欧州	1,454	10.5%	1,065	8.4%	△388	△26.7%
その他（中東他）	6	0.0%	4	0.0%	△2	△34.2%
建機用フィルタ 計	13,811	100.0%	11,296	89.1%	△2,514	△18.2%
国内 エアフィルタ	-	-	1,377	10.9%	1,377	-
売上高合計	13,811	100.0%	12,674	100.0%	△1,136	△8.2%

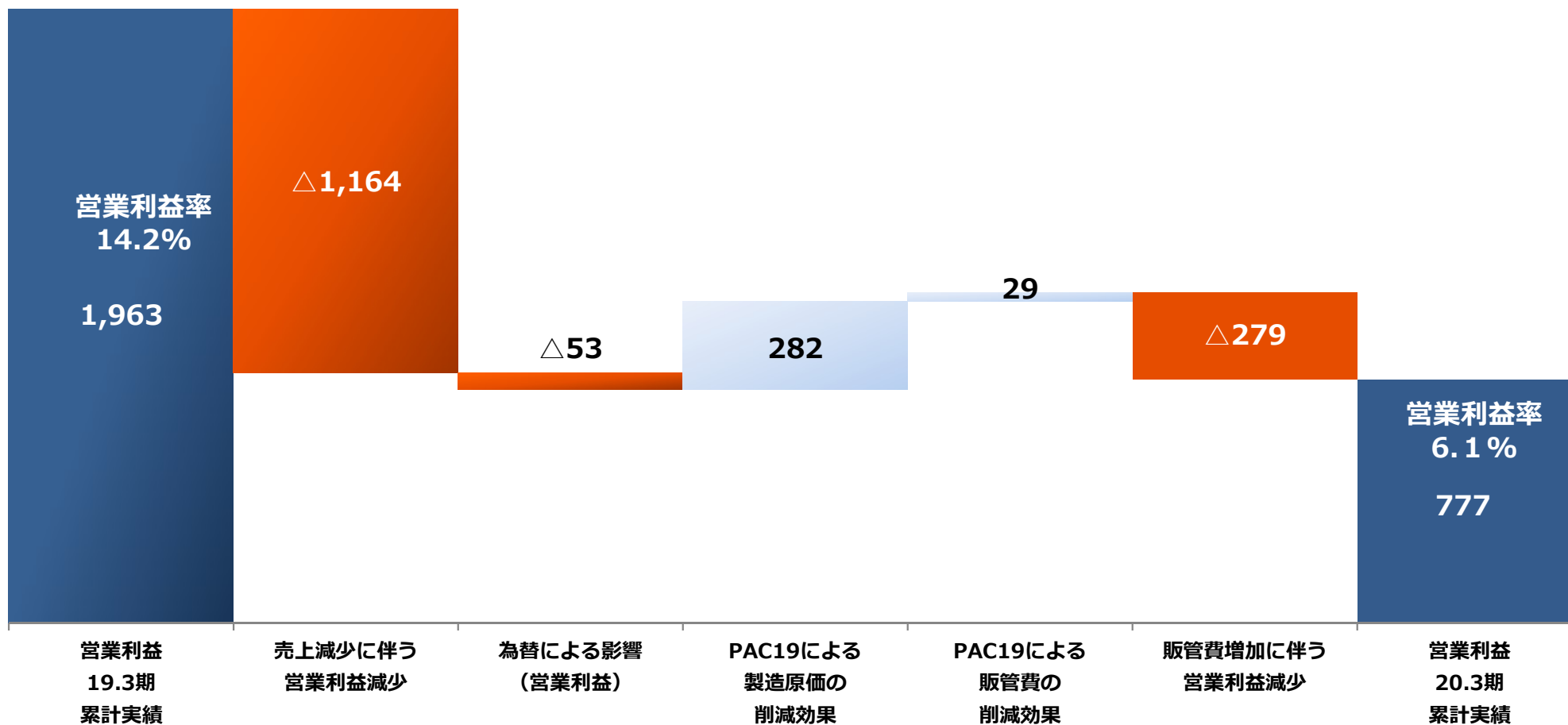
※当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます  
 ※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

(単位：百万円)





(単位：百万円)



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
(単位：百万円)	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し
売上高	10,530	10,703	9,458	10,007	13,168	13,811	12,674	13,000
設備投資額	243	288	207	448	816	2,257	3,150	2,857
構成比%)	2.3%	2.7%	2.2%	4.5%	6.2%	16.3%	24.9%	22.0%
減価償却費	466	407	393	294	303	414	534	606
構成比%)	4.4%	3.8%	4.2%	2.9%	2.3%	3.0%	4.2%	4.7%
研究開発費	212	254	225	172	250	308	404	507
構成比%)	2.0%	2.4%	2.4%	1.7%	1.9%	2.2%	3.2%	3.9%

売上高及び設備投資・減価償却費の年度推移



管理部門にとどまらず、現場にまで  
企業価値向上の目標数値を落とし込む

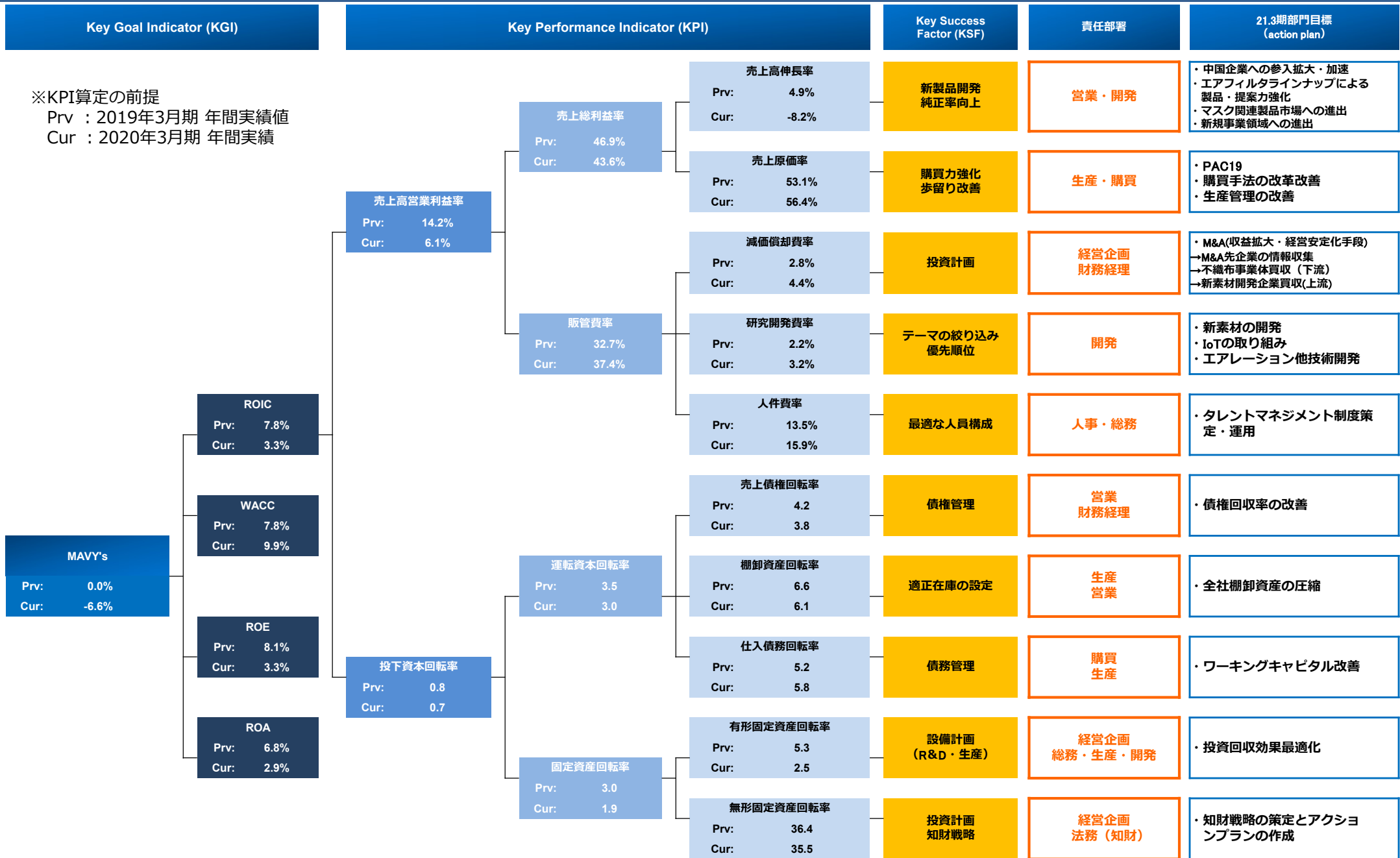
## MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

**M**aximizing  
**A**dded  
**V**alue of  
**Y**amashin Filter  
**S**pread

投下資本の利潤最大化を目指し、  
各責任部署が (KPI) を設定し  
業務に取り組む (KSF) ための  
最重要指標 (KGI)

MAVY's  
スプレッド拡大により  
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を  
割り振り、各KPIを設定して  
目標達成に向けた業務運営を  
全社にて行う

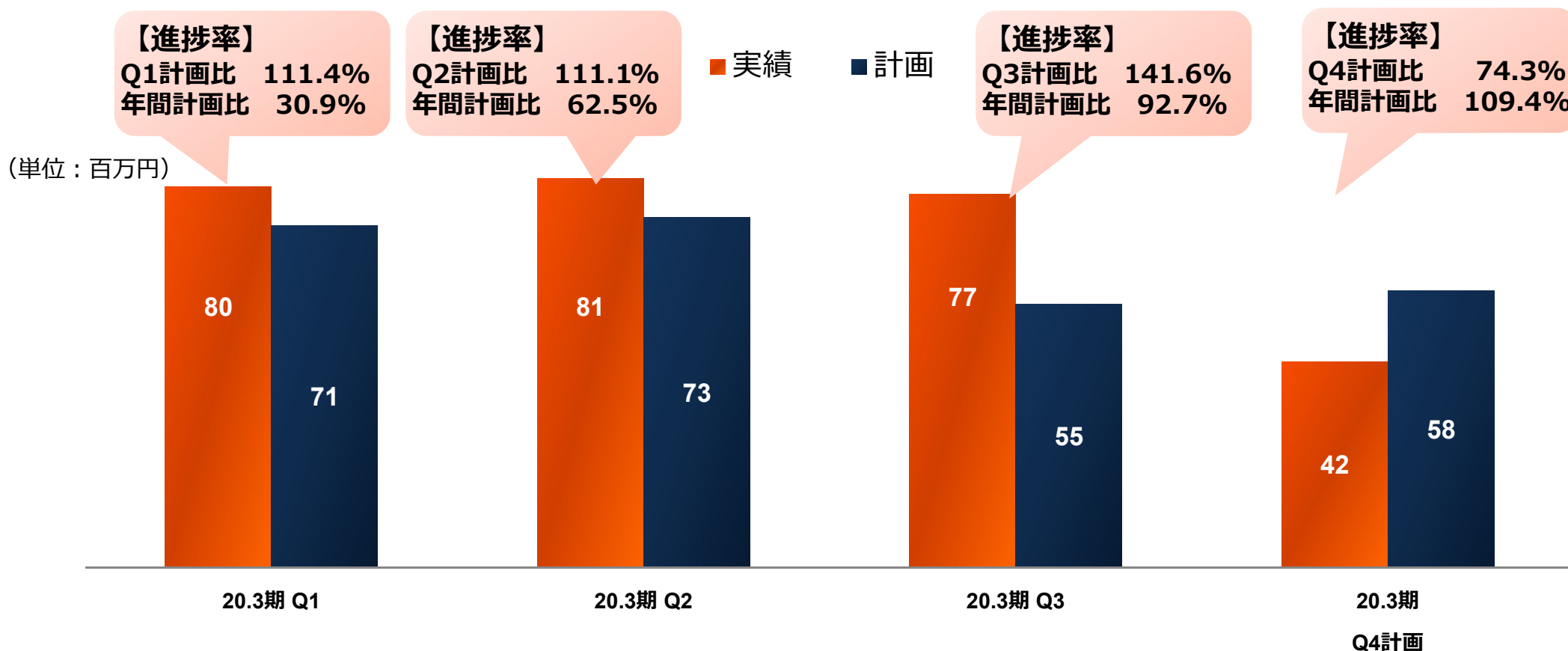


- 生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

**PAC19**

**P**romptly 迅速  
**A**ctivated かつ効果的な  
**C**ost reduction 20**19** コスト削減計画

サプライチェーン見直し、工程改善等により、原材料費削減が進捗





# 2021年3月期 通期業績予想

---



## 新型コロナウイルス 感染症による 業績への影響

生産活動やサプライチェーンの停滞等の影響が不透明であることから  
保守的な計画を前提に業績予想を策定

## 主要顧客の状況

【中国建機メーカー】 2020年3月より順次生産正常化し、増産継続見通し  
【日米欧建機メーカー】 生産体制は順次回復が見込まれるが  
先行き不透明感は払拭されず  
需要の回復にはある程度の時間を要することが見込まれる

## リスクの想定

従業員の健康・安全保持のため、勤務地域に応じた業務体制を選択  
(在宅勤務、時差出勤の指示・励行)  
BCPとして、生産供給体制の分散を継続

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2021/3期
	実績	実績	見通し	前期比増減
(単位：百万円)	金額	金額	金額	金額
売上高	13,811	12,674	13,000	325
建機	13,811	11,296	10,000	△1,296
エアフィルタ	-	1,377	3,000	1,622
営業利益	1,963	777	590	△187
建機	1,963	654	300	△354
エアフィルタ	-	122	290	167
<b>営業利益率</b>	14.2%	6.1%	4.5%	△1.6Pt
経常利益	1,915	603	560	△43
<b>経常利益率</b>	13.9%	4.8%	4.3%	△0.5Pt
当期純利益	1,413	608	340	△268
<b>純利益率</b>	10.2%	4.8%	2.6%	△2.2Pt
為替レート AR USD	110.9	108.8	108.0	-
EUR	128.4	120.8	121.0	-

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

	2020年3月期 実績		2021年3月期 見通し		2021年3月期 前期比増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
建機用フィルタ	9,866	77.8%	8,673	66.7%	△1,193	△12.1%
ライン品	4,129	32.6%	3,665	28.2%	△464	△11.2%
補給品	5,737	45.3%	5,008	38.5%	△728	△12.7%
産業用フィルタ	492	3.9%	420	3.2%	△71	△14.6%
プロセス用フィルタ	937	7.4%	905	7.0%	△31	△3.4%
既存ビジネス 合計	11,296	89.1%	10,000	76.9%	△1,296	△11.5%
新規ビジネス (エアフィルタ)	1,377	10.9%	3,000	23.1%	1,622	117.8%
売上高合計	12,674	100.0%	13,000	100.0%	325	2.6%

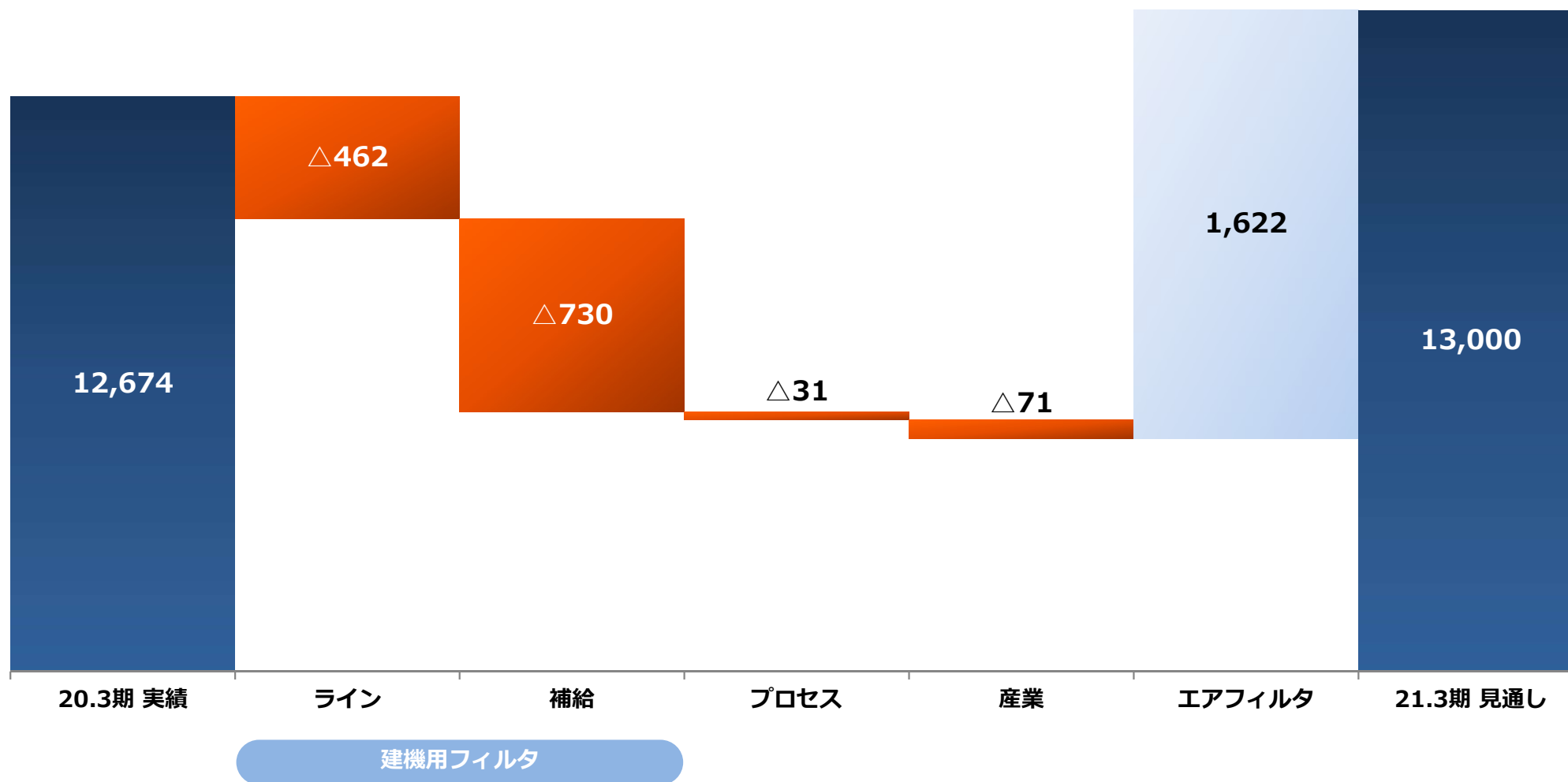
	2020年3月期 実績		2021年3月期 見通し		2021年3月期 前期比増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内 建機用フィルタ	5,420	42.8%	4,587	35.3%	△833	△15.4%
北米	2,313	18.3%	2,081	16.0%	△231	△10.0%
中国	1,173	9.3%	1,212	9.3%	39	3.3%
アジア	1,319	10.4%	1,250	9.6%	△69	△5.3%
欧州	1,065	8.4%	845	6.5%	△220	△20.7%
その他（中東他）	4	0.0%	23	0.2%	19	476.8%
建機用フィルタ 計	11,296	89.1%	10,000	76.9%	△1,296	△11.5%
国内 エアフィルタ	1,377	10.9%	3,000	23.1%	1,622	117.8%
売上高合計	12,674	100.0%	13,000	100.0%	325	2.6%

※当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

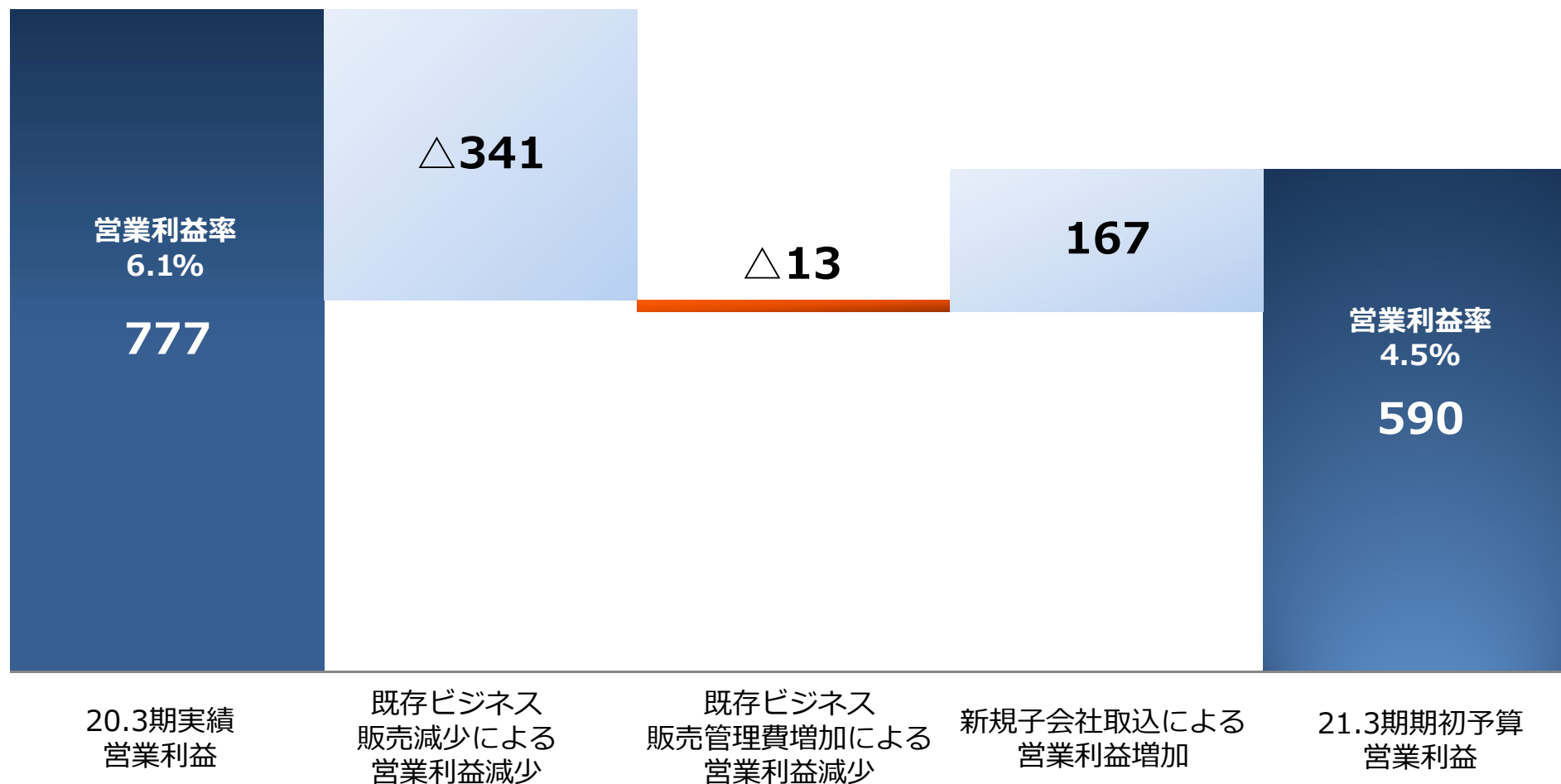
※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます



（単位：百万円）



(単位：百万円)



為替は完全マリーが継続している。為替感応度0.6%を実現



取引通貨の7割はJPY

USDは為替マリーを実現

- 為替が1円円高になった場合の営業利益影響額は約4百万円減益

## 中間配当 3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円据え置き

	18年3月期	19年3期	20年3月期	21年3月期 予想
1株当たり 配当金	3.6円※1	6.0円	6.0円	6.0円
DOE※2	1.9%	2.4%	2.3%	2.2%
総還元性向※3	21.6%	31.9%	72.3%	134.0%

注)

※1 2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、2018年3月期の配当額については、参考値として株式分割後の金額を記載しております

※2 DOE（株主資本配当率）＝（年間配当総額÷株主資本）×100＝（ROE×配当性向）

※3 総還元性向＝（配当総額＋自己株式取得＋株主優待）÷当期純利益





# II

## “建機市場を取り巻く環境”

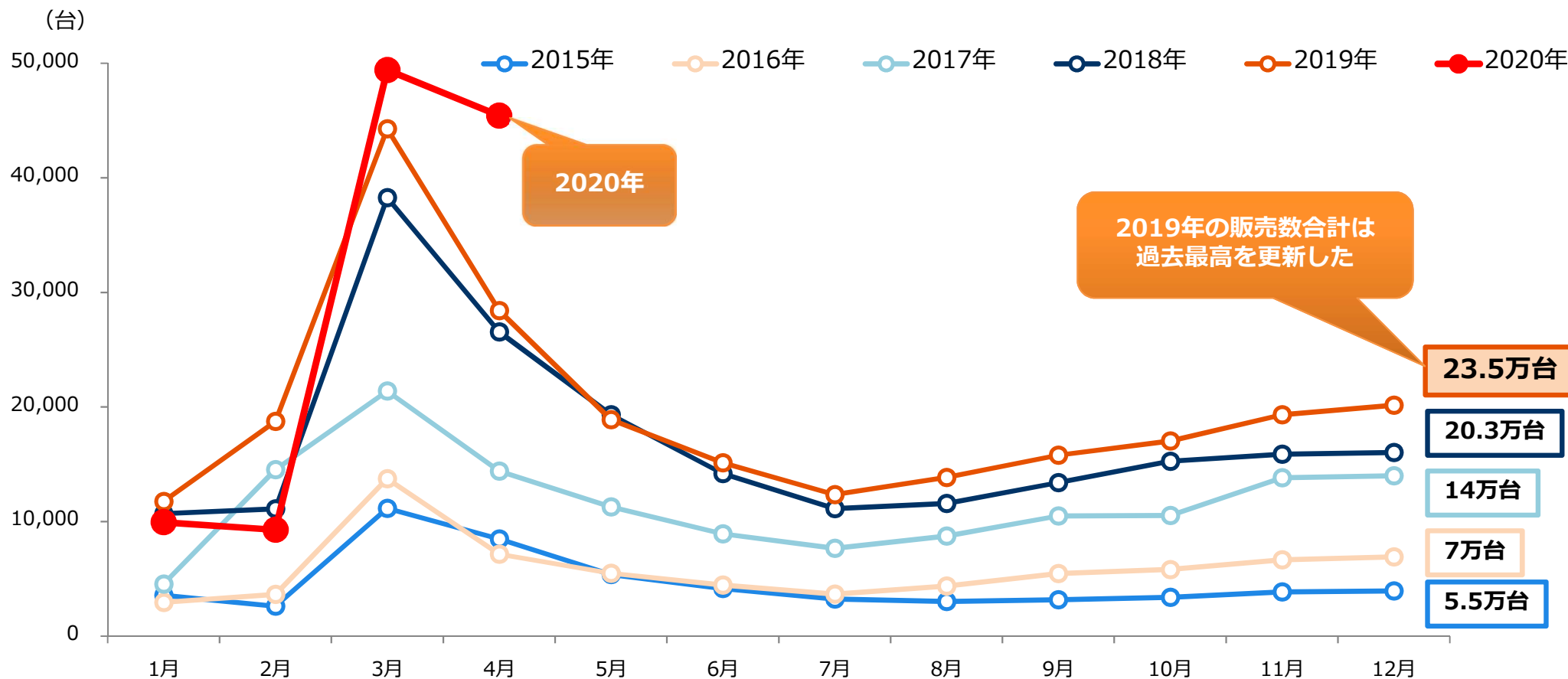


- 2020年3月期は新型コロナウイルスの感染拡大により、各国の経済活動が停滞し、建機需要は減少
- 世界最大の建機市場である中国市場においては、経済活動の回復により、今後公共事業投資拡大による建機需要の増加が見込まれる
- 日米欧亜においては、先行き不透明さは残るも、経済活動再開により需要回復が見込まれる

	2020/3 3Q	2020/3 4Q	今後の見通し
中国	インフラ投資拡大に伴い堅調に推移 中国系建機メーカー台頭が進行	<b>新型コロナウイルスが感染拡大も 中国系建機メーカーのシェア拡大 新車販売台数は過去最高を記録</b>	政府主導による公共投資継続 Tier4環境規制に伴う新車需要増加
東南 アジア	インフラ整備等の潜在需要は堅調 <b>中国系建機メーカー台頭が進行</b>	経済活動停止により建機需要が減少	先行き不透明さが残るも インフラ整備等で需要回復を見込む
北米	米中貿易摩擦懸念は短期的に鎮静化 需要は堅調に推移	経済活動停止により建機需要が減少 大幅なGDPのマイナス成長	先行き不透明さが残るも 需要は回復を見込む
日本	設備投資・公共投資増加基調 需要は前年並み	経済活動の停滞により建機需要が減少 サプライチェーンに大きな影響	先行き不透明さが残るも 需要回復を見込む
欧州	EU離脱問題の不透明感は払拭 需要は若干減少	経済活動の停止により建機需要が減少	先行き不透明さが残るも 需要は回復を見込む

# 2019年の中国建機需要は過去最高の台数を記録

年別販売推移（月別）

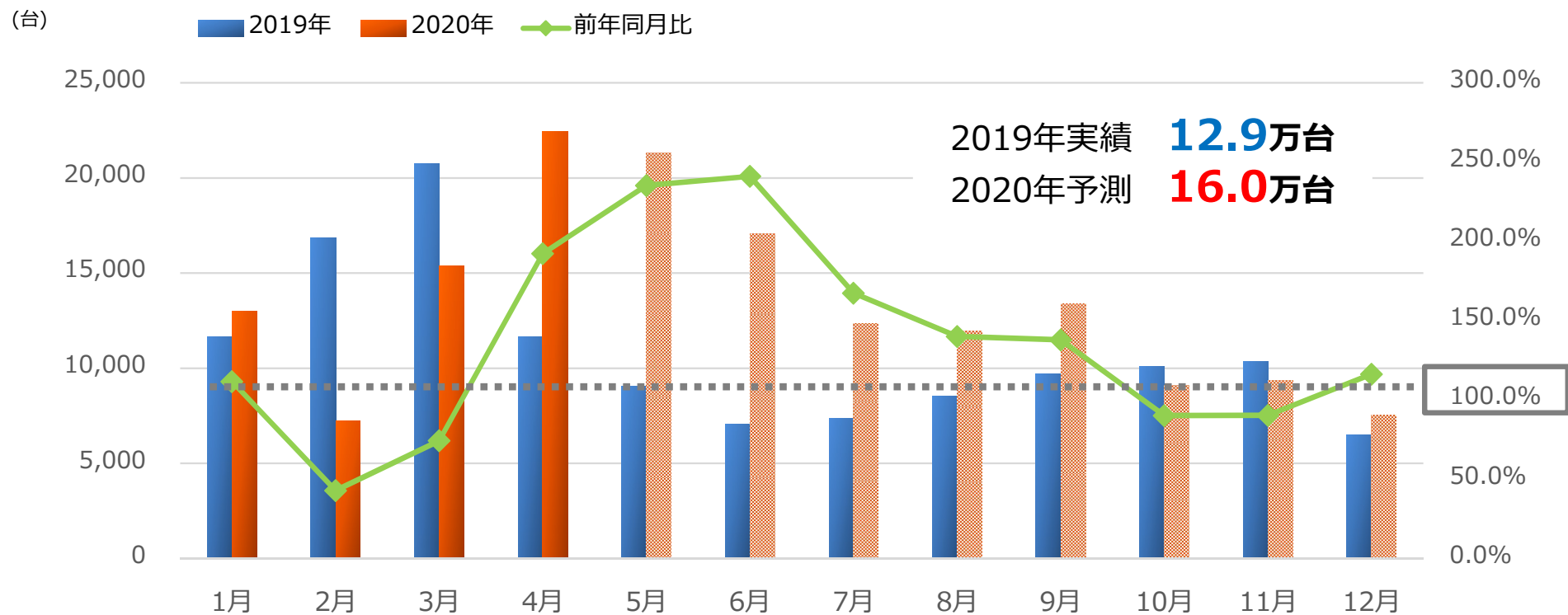


(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

## 2020年の中国系建機メーカーは増産傾向の見込み

### 主要中国系建機メーカーの生産計画推移

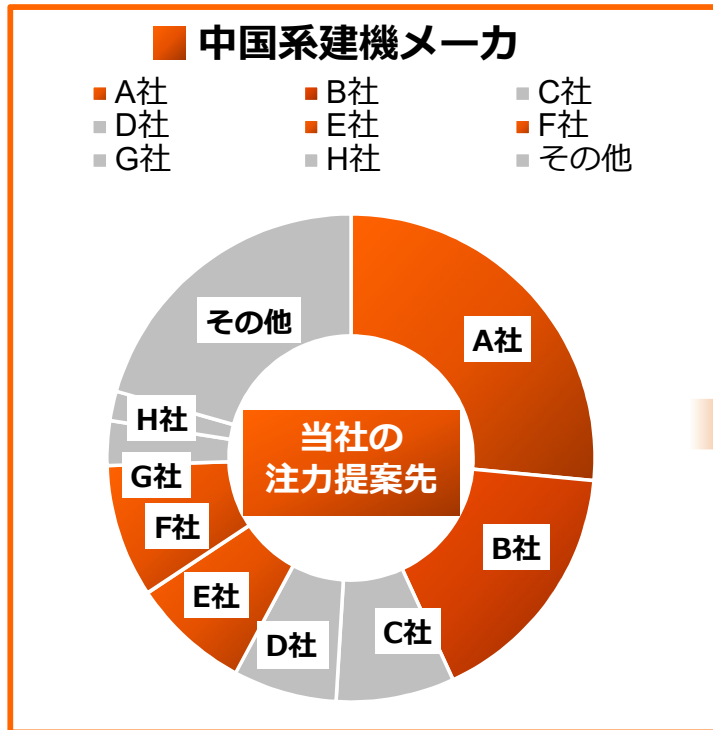
- 春節の延長、新型コロナウイルスの感染拡大により、生産計画が後ろ倒しとなる
- 2020年の中国系メーカーの生産台数は、2019年比で**+24%**と予測



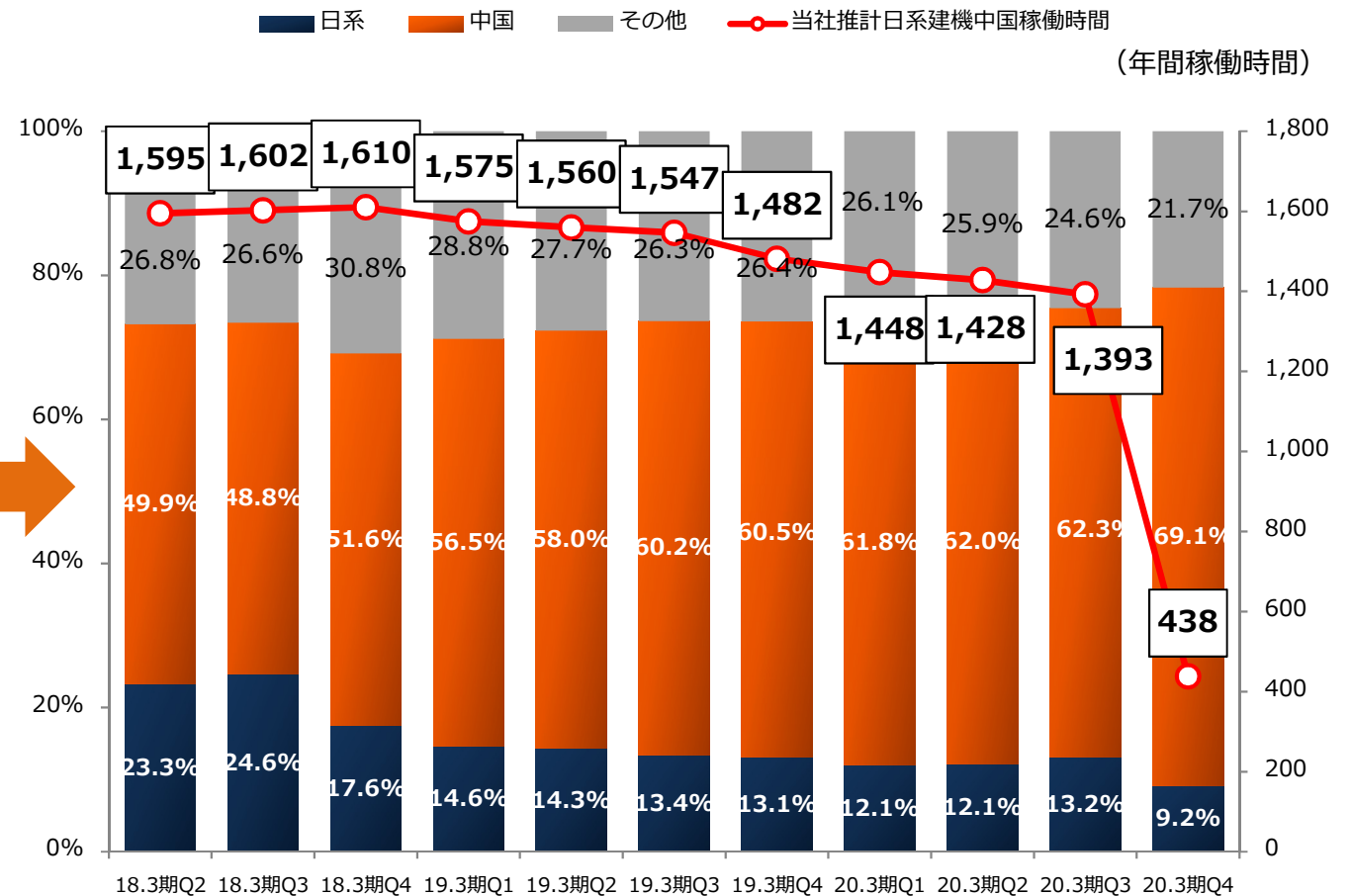
(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

# 春節の延長、新型コロナウイルス感染拡大により稼働時間が大きく減少

中国建機市場における、  
主要建機メーカーシェア

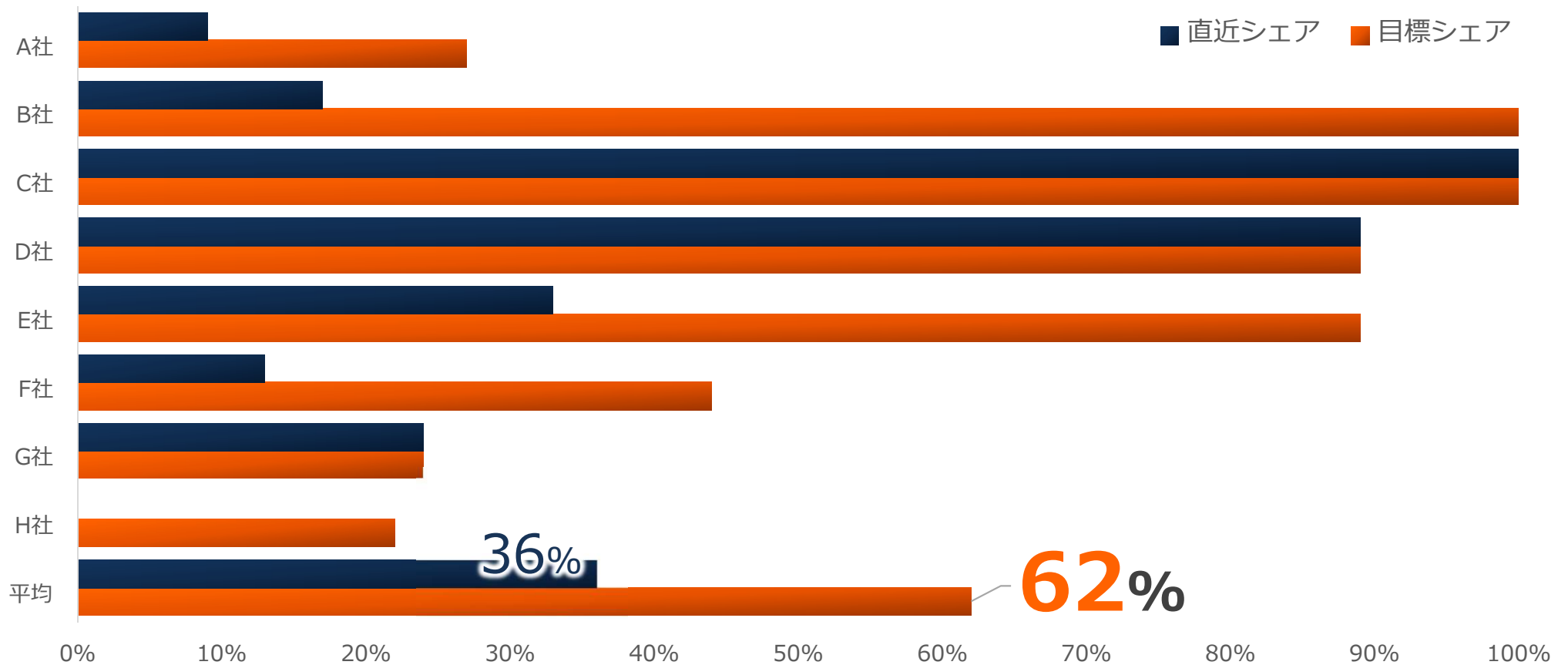


中国市場  
販売シェア推移



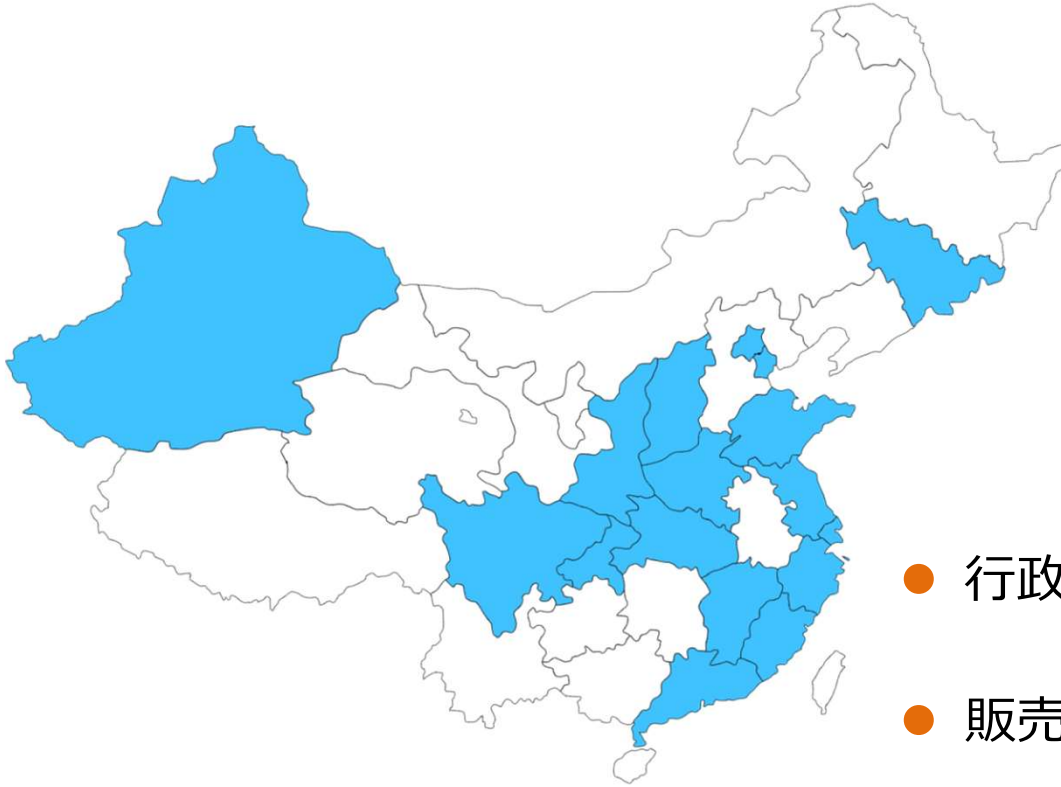
## 高付加価値製品を戦略製品と位置づけ、営業活動を展開

主力製品 シェア拡大目標





## 建機領域に強い販売パートナーと提携。6月より順次展開を開始



- 行政区分にて**16/34区分**をカバー
- 販売パートナーは合計**20社**
- 品質・性能とコストを両立し、

**販売ネットワークを順次拡大**していく

# 中国系建機メーカーへの提案に注力し、シェアを拡大する

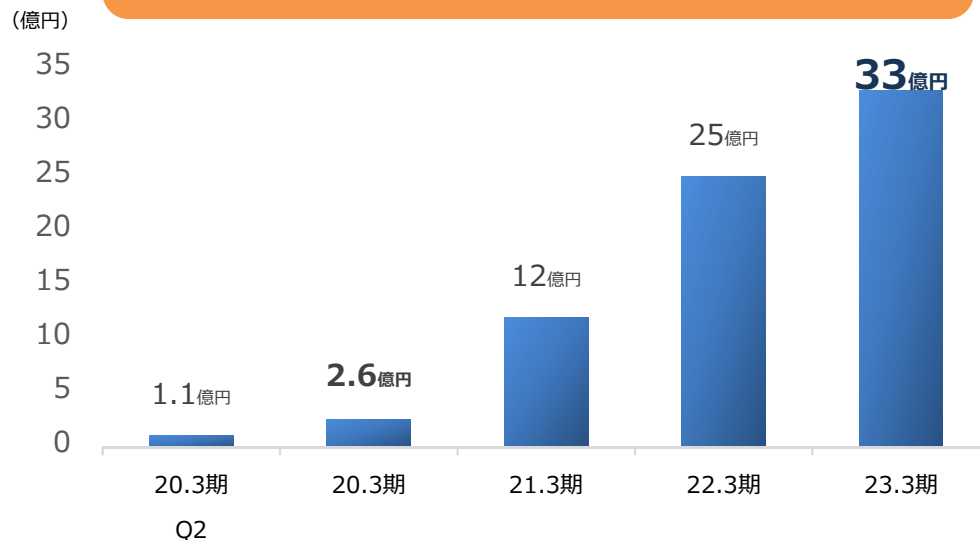
## 市場環境

- 中国政府主導によるインフラ投資の拡大基調継続
- 第4次環境規制開始にともなう当社独自技術の需要増加
- エンドユーザの消費マインドが価格重視から品質重視に変化
- 新車累積販売台数の増加に伴うアフターマーケット規模は大幅に拡大
- 中国系建機メーカーの海外展開にともなうグローバルサプライヤーのニーズの高まり

## ライン品売上拡大計画

### 製品ラインナップの拡大と価格戦略

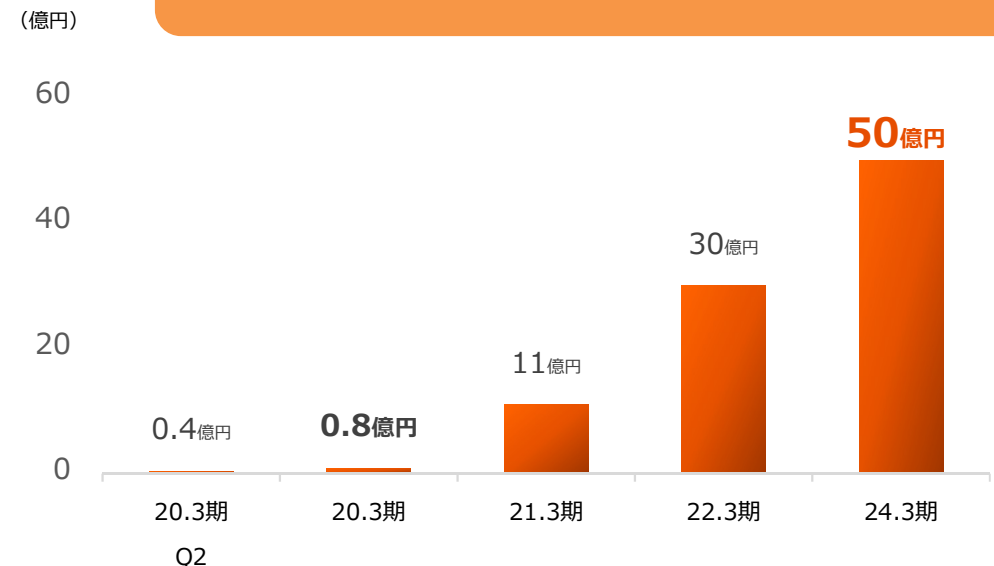
- ・ 高付加価値製品（ロングライフ、IoT）の供給
- ・ 既存製品拡販に向けた価格戦略の展開



## 補給品売上拡大計画

### 当社ブランドを使用した販売戦略の展開

- ・ 建機メーカー保証期間終了後、販売代理店との直接取引





# III 今後の戦略



## コーポレートサステナビリティの強化

# フィルタビジネスを通じて SDGs等の社会的課題に取り組む

当社が取り組む3つのテーマ



経営理念：「仕濾過事」 (ろかじにつかふる) の具現化

## 新素材・新技術による環境対応で製品需要の拡大を目指す



### 建機市場におけるシェアアップ

付加価値向上による機械故障  
件数の減少・建機寿命の延長



環境負荷低減

稼働時間 3倍

ハイブリッドフィルタ  
ガラス繊維×ナノファイバー



IoTによる「故障予知」を実現

清浄度センサ

- ・油、水の清浄度測定
- ・低コスト
- ・コンパクト設計

ライフセンサ

どのくらいフィルタにゴミが詰まっているか、  
段階的なモニタリングを行う



### 中国市場 環境対応で新規顧客獲得

高品質なる過精度フィルタにて  
CO2削減に貢献

第4次環境規制対応に向けた  
新車需要の取り込みを加速



## エアフィルタ事業の事業拡大による大気汚染の防止に貢献



### 事業環境

新興国における経済発展に伴う深刻な空気汚染等大気汚染のリスク増大。

エアフィルタ市場は拡大を継続すると見込まれる。

エアフィルタ市場 年平均成長率予測

**3.5%** (2050年まで)

### 当社が貢献できること

フィルタの専門メーカーとして、高機能フィルタで健康被害を低減。

ライフサイクルの長期化によるメンテナンスコストを低減。



## マスク関連製品の開発・販売の開始



# ヤマシンだからできた高性能マスク

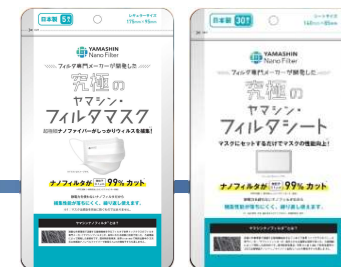


### 【事業環境】

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界の人々の衛生意識の高まり、マスクの需要増加

### 【開発進捗】

「YAMASHIN Nano Filter™」を使用したマスク・マスク用インナーシートの開発・販売開始。フィルタ専門メーカーである当社だからこそ可能になった、**高性能マスクの製造・供給を実現**



### 製品の差別化ポイント

- ✓ 超極細繊維による物理的な微細物の捕集
- ✓ 長期間の性能保持
- ✓ 佐賀工場による安定した国内生産供給  
(マスク月産180万枚を生産予定)

### 販売状況

- ✓ マスク (ヤマシンフィルタマスク) 5月18日(月)より、オンラインショップで販売
- ✓ マスク用シート (ヤマシンフィルタシート) 大手手芸用品店、マスク製造メーカー等へ販売

より詳細な機能の説明については下記  
ヤマシン・フィルタマスク、ヤマシン・フィルタシート自社通販サイト (<https://yamashin-filter.shop-pro.jp>) をご覧ください

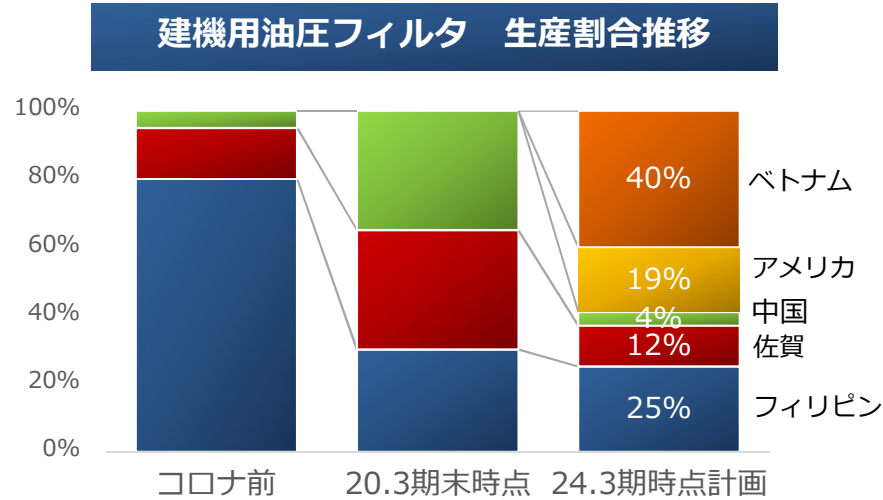


画像をクリックすると  
**オンラインショップ**  
へリンクします



画像をクリックすると  
**性能評価試験紹介動画**  
へリンクします

生産体制への  
影響



- 外出禁止令の影響により、フィリピンでの生産に影響を受ける
- 各拠点へ生産量を配分し、安定的な供給を継続

生産拠点の再編



BCPの一環として生産拠点の再編に着手、  
**安定的・効率的な供給体制を見直し**  
(ベトナム工場2021年竣工予定)

2020年2月にコミットメントライン  
40億円の契約締結

# 建設機械フィルタの専門メーカーから 「総合フィルタメーカー」への飛躍を加速



エアフィルタ



(販売・生産)

建機

YCF  
(生産)

YAI  
(販売・生産)

YTL  
(販売)

YEB  
(販売)

YST  
(販売・R&D)

ナノファイバー  
産業副資材

アパレル

家電

自動車内装

生活用品

ヘルスケア



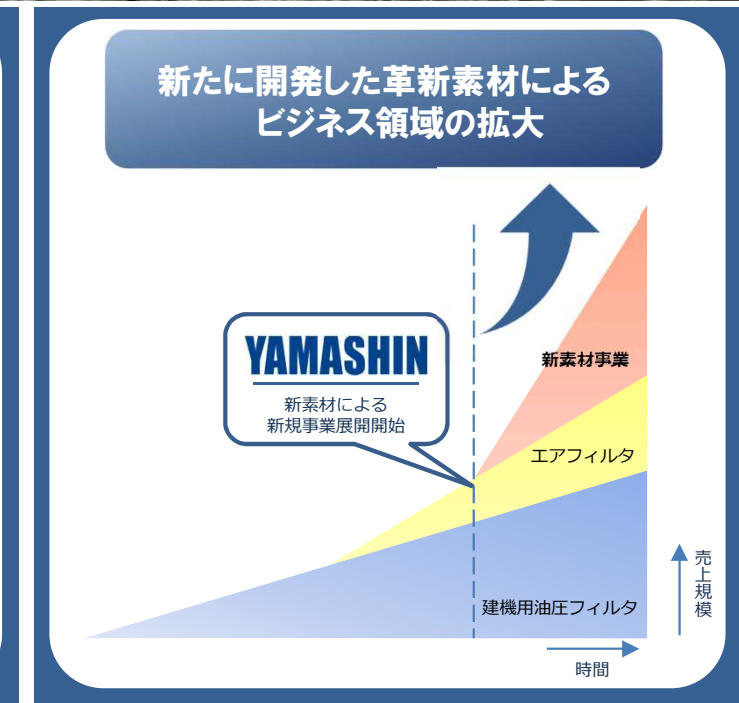
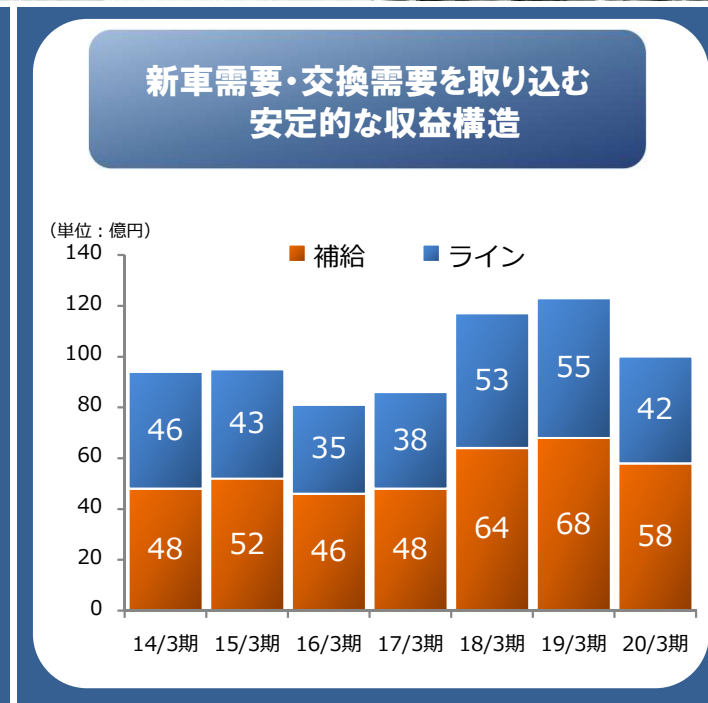
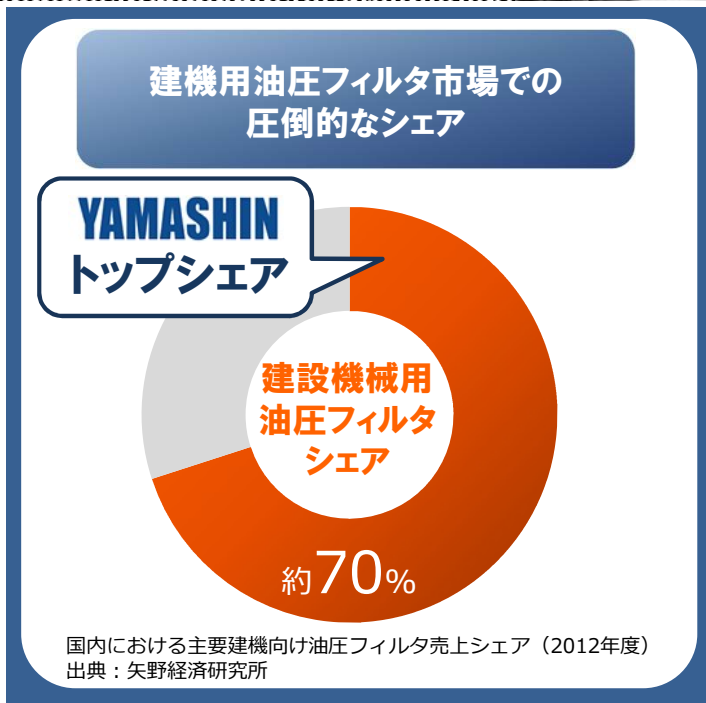
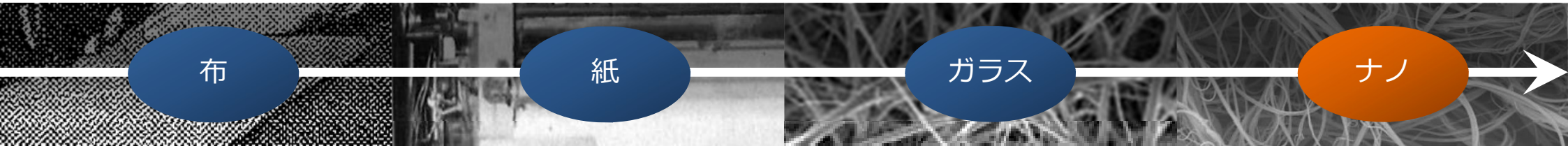


# 参考資料

## ① 当社基本情報



# 建設機械の進化に応じた、革新的なる材の研究開発力



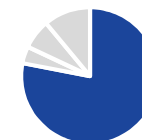
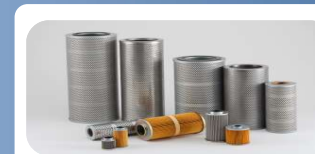
- 当社は効率的なインフラの整備に貢献してきた。
- 高い品質と豊富な実績に下支えされ、グローバル展開する日本・欧米・中国の大手建機メーカーに多くの製品が採用されている。

## 当社グループの概要

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております

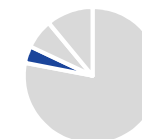
### 建機用フィルタ分野

建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ  
用途：様々な種類の建機



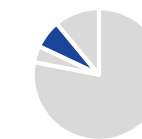
### 産業用フィルタ分野

様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ  
用途：工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械



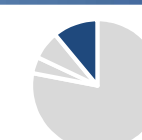
### プロセス用フィルタ分野

顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ  
用途：電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界



### エアフィルタ分野

粗塵、中高性能のエアフィルタ  
用途：一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等



## 建設機械の稼働に不可欠なフィルタ 多様多彩なラインナップを提供

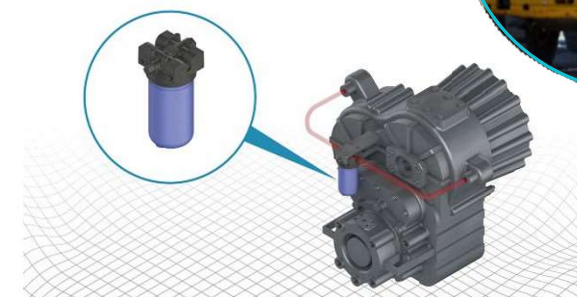
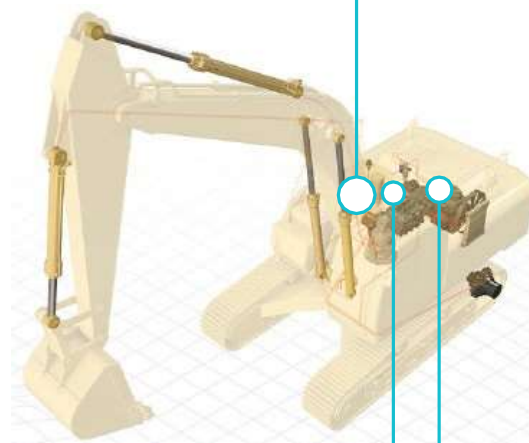
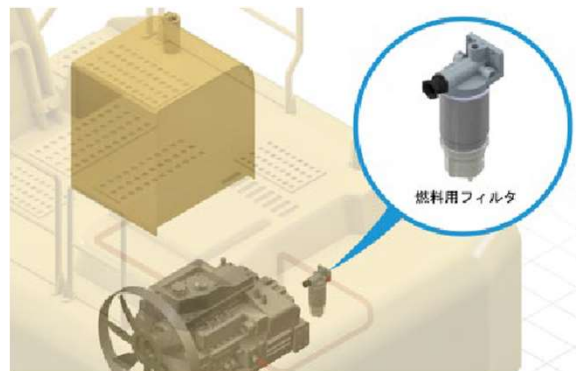


### 油圧用

シリンダー等の油圧機器の保護を目的に、建機に複数搭載されるフィルタです。建機の故障の原因は、約7割がオイル内のダストによる機器破損といわれています。当社では、創業以来のノウハウで最適なフィルタを提供しています。

### 燃料用

ディーゼル燃料に混入したダストの除去を目的としたフィルタです。昨今、世界的に進んでいる排ガス規制をきっかけに、燃料に求められる清浄度が高まっています。粗悪燃料が蔓延している新興国では、特に需要増が見込まれています。

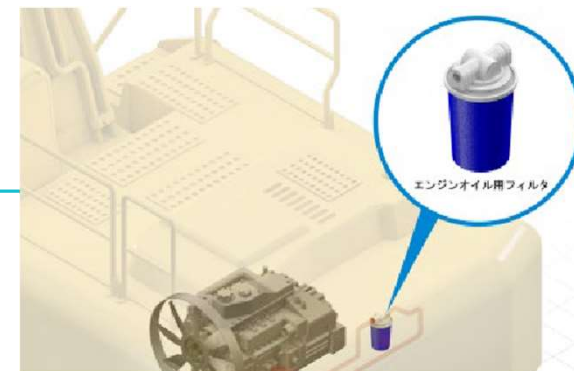


### トランスミッション用

トランスミッション（変速機）機構を持つ建機に搭載されるフィルタです。トランスミッションは複数のギアで構成されるため、ギア同士の摩擦で金属粉等のダストが発生します。当社では自社製「る材」によってこのダストを適切にろ過し、機器のダメージを防ぎます。

### エンジンオイル用

建機の各種エンジンに搭載されるフィルタです。エンジンの内部では動力を発生させるためにピストン等が高速運動をしています。エンジンオイル用フィルタは、その際に混入する摩耗（金属）粉やスラッジ（堆積物）等を除去し、性能低下や破損リスクを低減します。



## セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「**ライン品**」と「**補給品**」に分かれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ。重要指標は「**新車需要台数**」
- 補給品は交換部品用のフィルタ。重要指標は「**稼働台数**」×「**稼働時間**」

## 販売形態 地域別動向 コスト削減

- **販売形態**  
建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売。エンドユーザーへの直販は基本的に行っていない
- **地域別動向**  
地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- **PAC19 (Promptly Activated Cost reduction 2019)**  
全社的なコスト削減プロジェクト

用語	計算式
MAVY's	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産
Key Goal Indicator(KGI)	当期：累計実績値+予算、前期：年間実績値
Key Performance Indicator (KPI)	累計実績値比較

※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。



**STRENGTH (強み)**

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- **新素材導入による更なるシェア拡大**
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

**OPPORTUNITIES (機会)**

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- **「総合フィルタメーカー」への飛躍によるビジネス領域の拡大 (エアフィルタ, YAMASHIN Nano Filter™, ヘルスケア用品への進出)**

**WEAKNESS (弱み)**

- 売上高の約8割が建機用フィルタに依存
- 人的リソース不足の懸念

**THREAT (脅威)**

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 中国市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達
- **新素材商品展開の遅れ**

総合フィルタメーカーを実現し脱却予定

新素材による模倣品排除

育成事業

エアフィルタ

新素材事業

構造改革事業

STRATEGY MATRIX


基盤事業 (成長)

建機用  
フィルタ

基盤事業 (安定)

		主な取り組み	進捗状況
建機 フィルタ	ライン品	<ul style="list-style-type: none"> <li>故障予知、IoT・ICT技術の提案</li> <li>新素材を使ったリターンフィルタの提案</li> <li>中国系建機メーカーへの拡販</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大手メーカー向けにSWIFTRUCK™・ライフセンサ搭載提案中。実機試験継続中</li> <li>新素材を使ったリターンフィルタ量産供給開始</li> <li>来期以降主要得意先への展開本格化</li> <li>国営企業2社を中心にTier4規制対応新機種向けに、当社製品（ハイブリッドフィルタ）の採用増加</li> <li>既存機種に対しての当社製品の採用実績は着実に増加中</li> </ul>
	補給品	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー展開によって非純正品からのシェア向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国系建機メーカー向け補給品として当社製品採用開始</li> <li>中国系建機メーカー向け補給品市場への進出</li> </ul>
	産業・プロセス フィルタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品ラインナップの拡充・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SWIFTRUCK™の搭載提案等継続</li> </ul>
ナノ フィルタ	アパレル	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の主要アパレルメーカーへの当社ナノファイバー製品の提案加速</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要紳士服メーカーへの新素材量産供給開始</li> <li>最大手アパレルメーカーを含む多数の企業依頼による試作品の提案並びに来期商品化に向けた企画提案を継続実施</li> </ul>
	エア フィルタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代エアフィルタの開発並びに量産化体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年3月期中に新素材エアフィルタの量産供給に向け、開発を進展中</li> <li>大手白物家電メーカーに対し当社新素材開発提案進展</li> <li>買収したアクシーとのシナジー実現に向けた取組み本格化</li> </ul>
	産業 副資材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケアへの転用による、健康被害リスク低減への貢献</li> <li>建材、車両等の幅広い産業副資材需要に向けたナノファイバー素材・製品の提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスク関連製品の開発、販売開始</li> <li>AI等を活用した次世代農業ベンチャー企業への当社新素材保温シートの標準化進展</li> <li>自動車吸音材の量産供給進展</li> </ul>
事業領域 拡大の施策		<ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業領域拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2の事業ポートフォリオであるエアフィルタ事業の中期的成長に向け、生産規模拡張、応用開発拠点の設立を目的とした新社屋、新工場の取得</li> <li>国内外の事業領域拡大向けエアフィルタ、不織布の事業領域、またナノ技術を持つ企業へアプローチ</li> </ul>



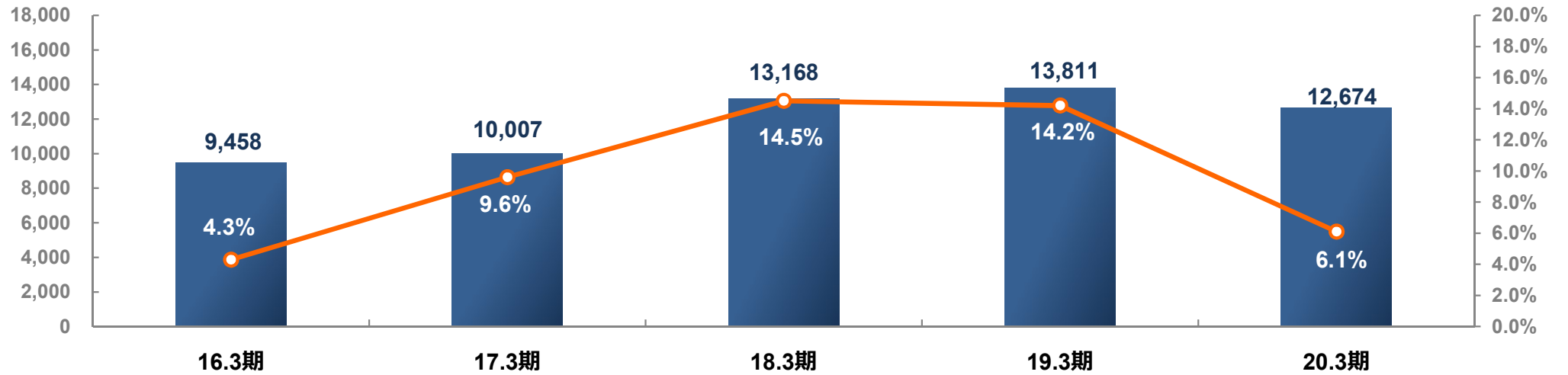


参考資料  
②財務ハイライト

売上高・営業利益率推移

(単位：百万円)

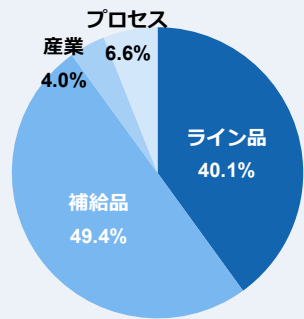
■ 売上高    ○ 営業利益率



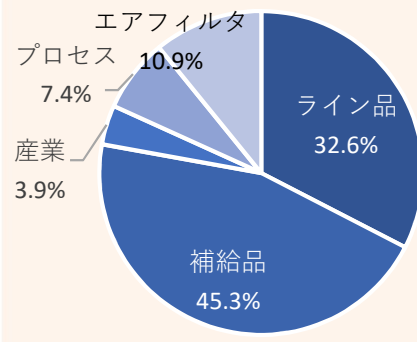
製品別売上高

地域別売上高

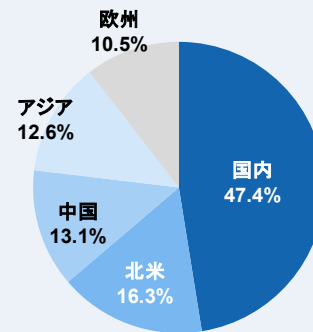
19.3期



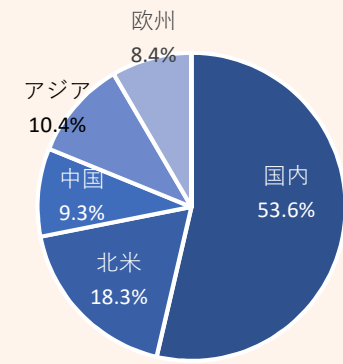
20.3期



19.3期



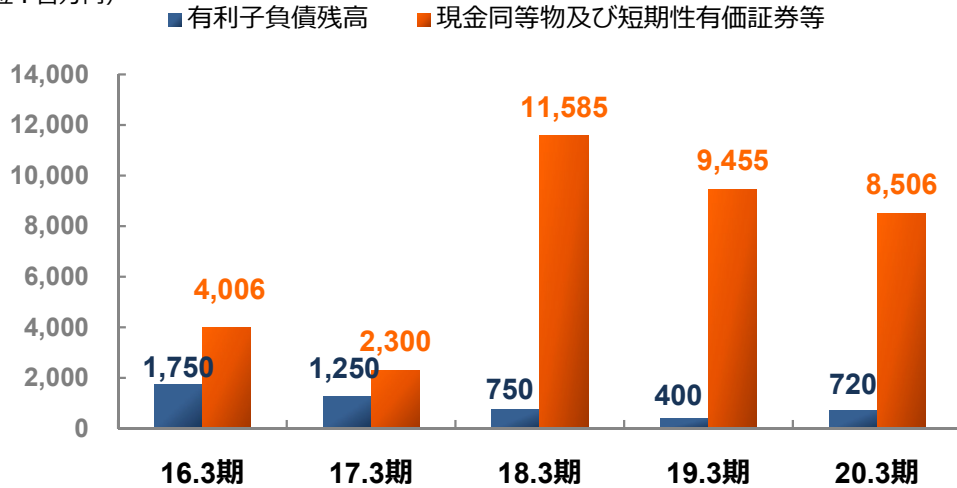
20.3期



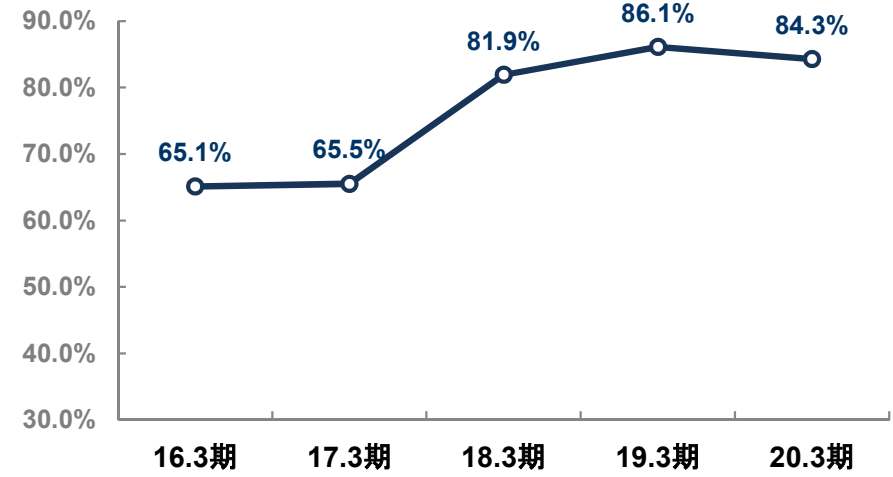


有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高

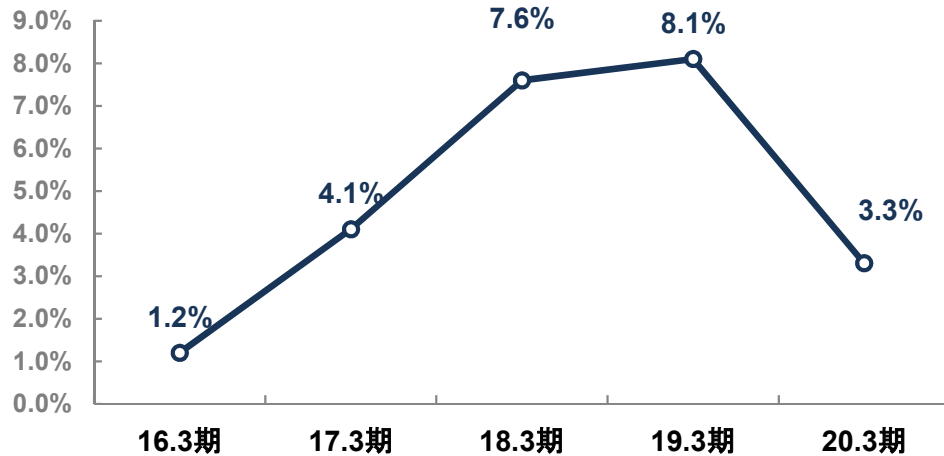
(単位：百万円)



株主資本比率

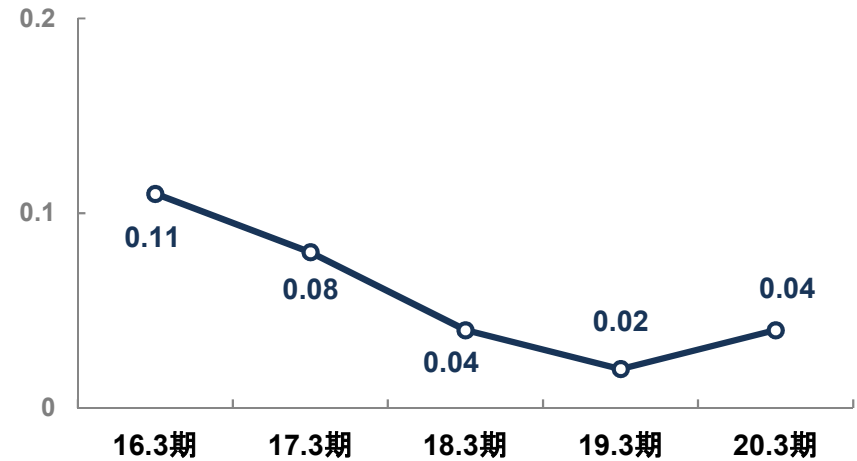


ROE



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

D/Eレシオ



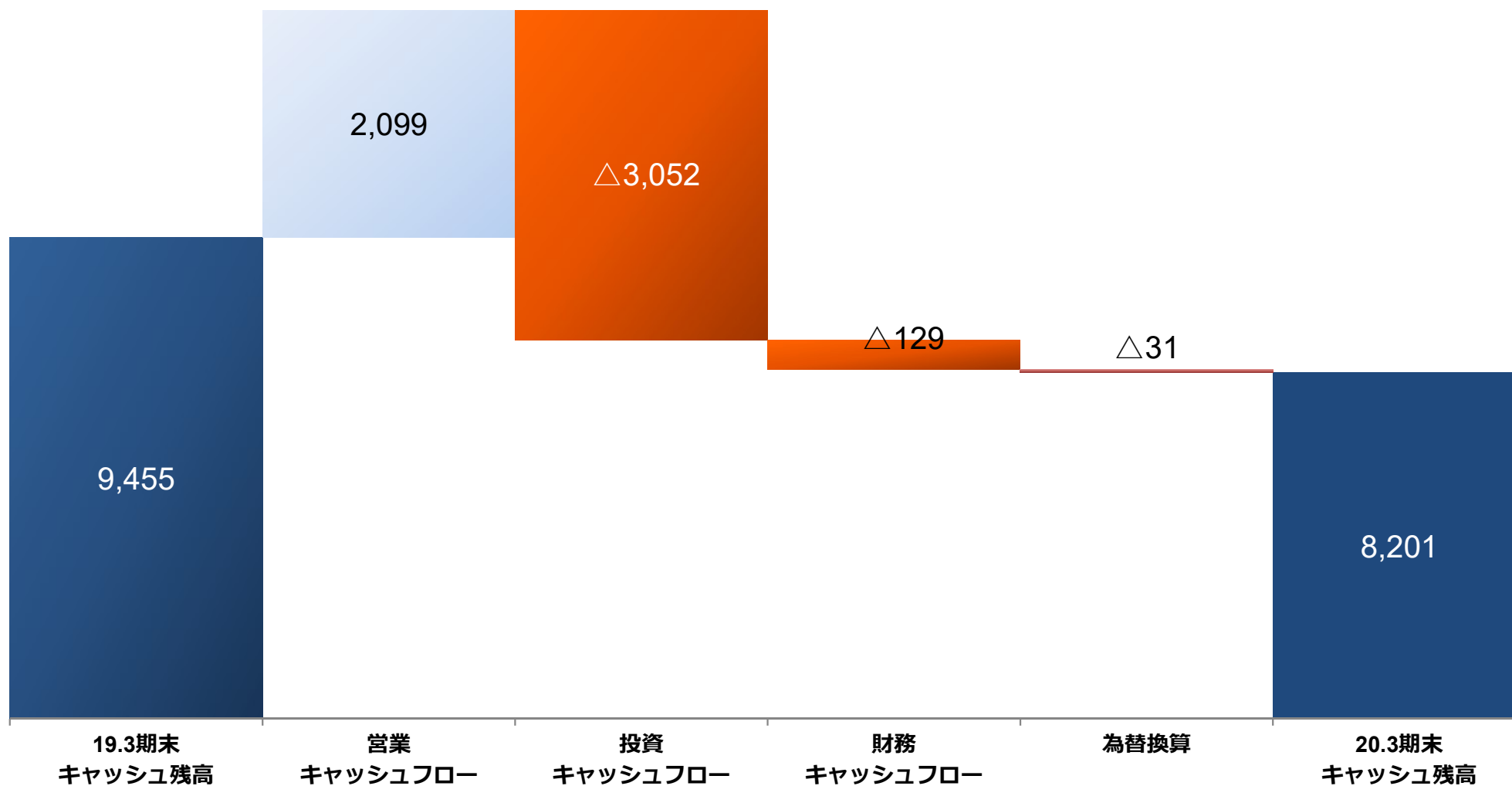
※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。



(単位：百万円)	2019/3期 期末	2020/3期 期末	増減額	増減率		2019/3期 期末	2020/3期 期末	増減額	増減率
<b>流動資産</b>	15,391	13,982	△1,406	△9.1%	<b>流動負債</b>	2,353	2,810	459	19.5%
現金及び預金	9,489	8,506	△982	△10.4%	支払手形及び買掛金	1,288	1,187	△100	△7.8%
受取手形及び 売掛金	3,252	3,405	153	4.7%	1年以内返済社債・短借	200	720	520	260.0%
商品・製品 & 原材料・貯蔵品	2,370	1,826	△543	△22.9%	その他	865	903	39	4.6%
その他	278	243	△34	△12.3%	<b>固定負債</b>	565	578	13	2.4%
<b>固定資産</b>	5,641	7,607	1,968	34.9%	社債	200	0	△200	△100.0%
有形固定資産	3,540	6,636	3,096	87.5%	退職給付に係る負債	190	250	60	31.8%
無形固定資産	346	367	21	6.2%	その他	175	327	152	87.4%
投資その他資産	1,754	603	△1,149	△65.6%	<b>純資産合計</b>	18,113	18,201	87	0.5%
<b>資産合計</b>	21,032	21,590	558	2.7%	<b>負債純資産合計</b>	21,032	21,590	558	2.7%

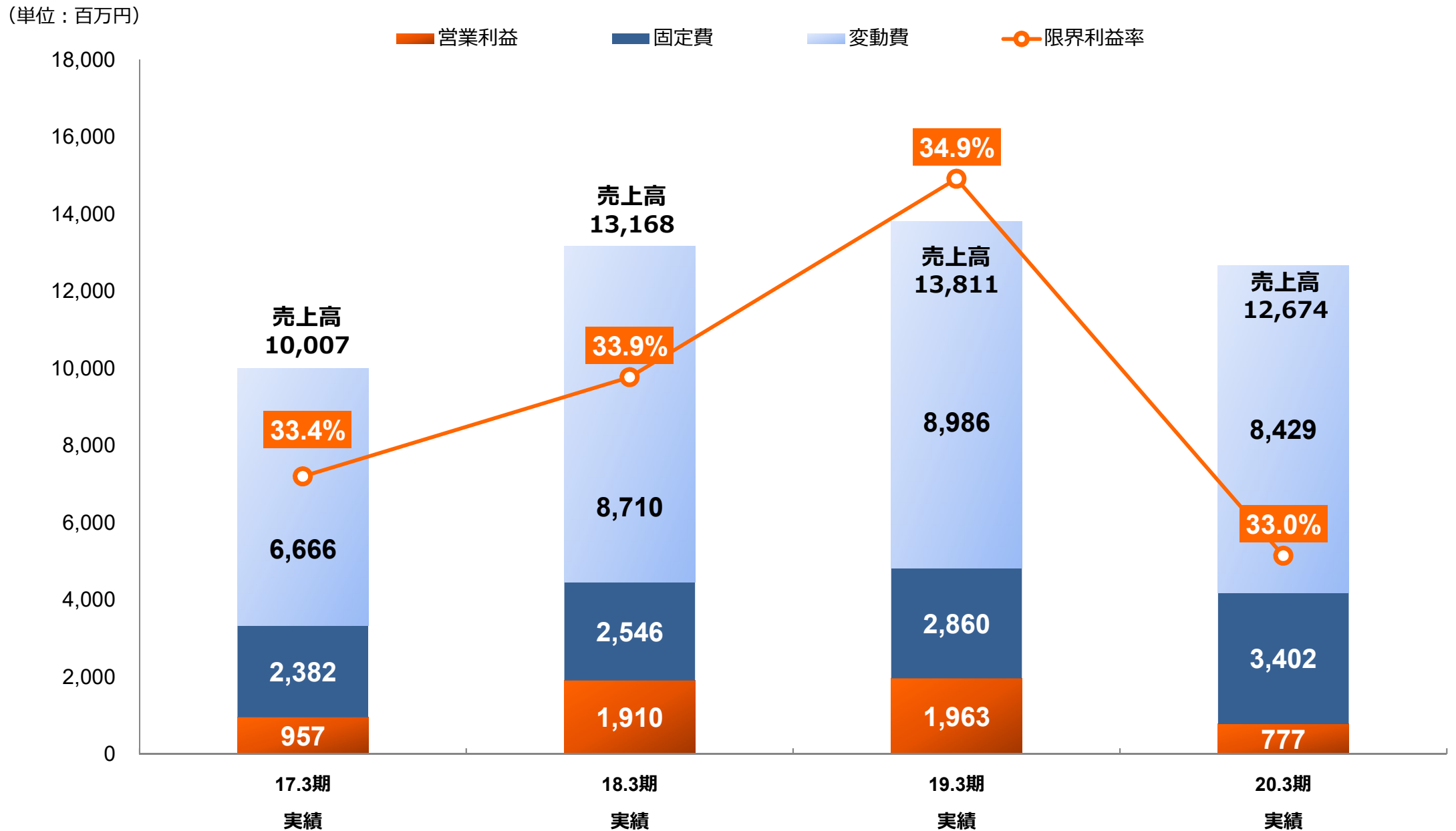
\*自己資本比率                      86.1%                      84.3%

(単位：百万円)

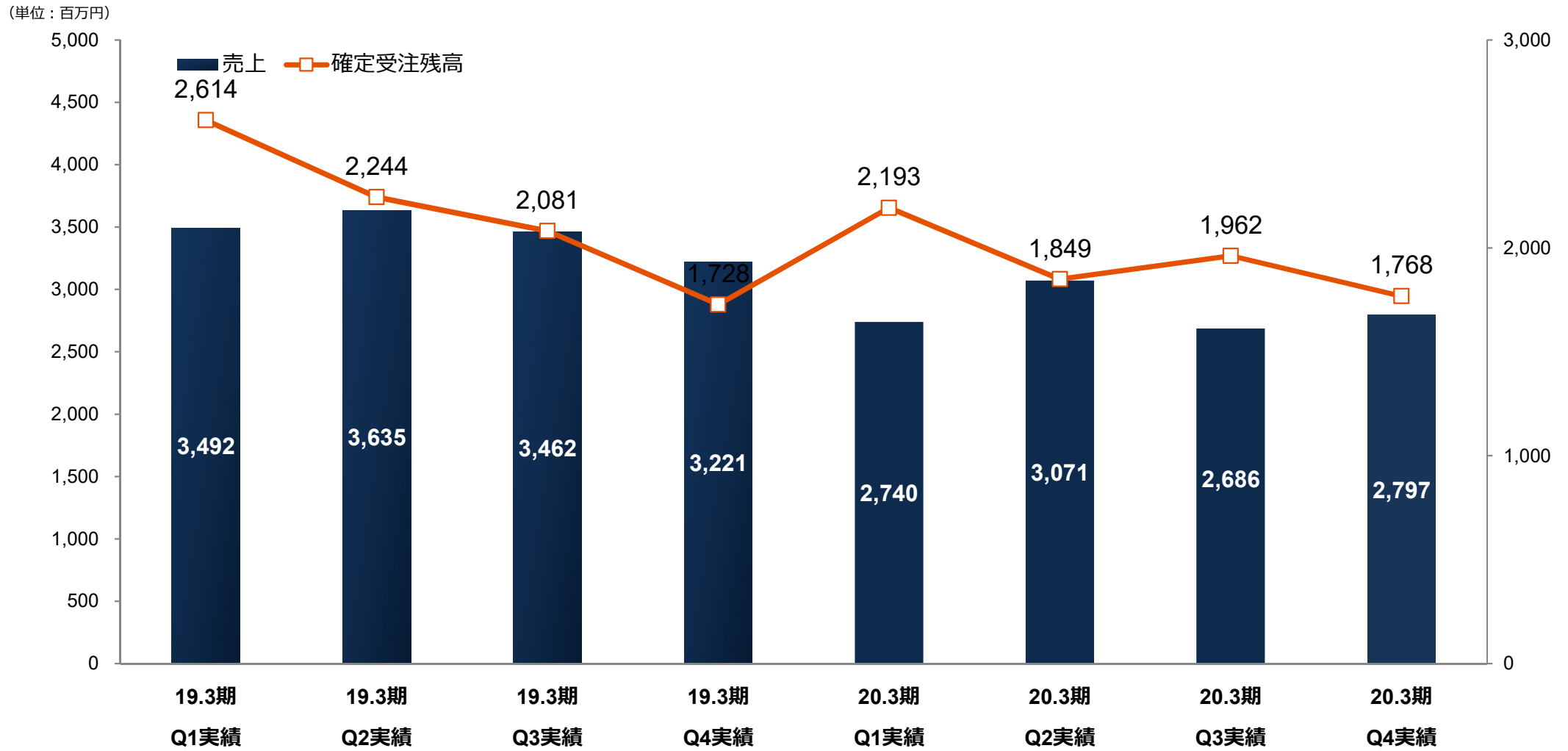


(単位：百万円)

Currency	Incoming		Outgoing		Net 各通貨	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比			期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)
JPY	¥14,700.0	72%	¥12,700.0	68%	¥2,000.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$47.1	25%	\$42.9	25%	\$4.2	¥108.8	¥97.88	¥-10.88	¥-45.68	¥119.63	¥10.88	¥45.68
EUR	€ 3.8	2%	€ 3.4	2%	€ 0.4	¥120.8	¥108.75	¥-12.1	¥-4.83	¥132.91	¥12.08	¥4.83
PHP	0.0	0%	421.6	5%	-421.6	¥2.1	¥1.91	¥-0.2	¥89.38	¥2.33	¥0.21	¥-89.38
THB	74.9	1%	38.1	1%	36.8	¥3.5	¥3.17	¥-0.4	¥-12.95	¥3.87	¥0.35	¥12.95
<b>Total</b>	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥25.92	-	-	¥-25.92







## 世界トップシェアを誇る建機用フィルタ事業

建機用フィルタ事業は、インフラ整備の投資拡大及びアフターマーケットの強さを背景に持続的な成長が見込まれる

## 売上及び利益面で大きな貢献が予想される新規事業

多様な用途への活用が期待される「YAMASHIN Nano Filter™」が成長ドライバー



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております  
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail [ir@yamashin-filter.co.jp](mailto:ir@yamashin-filter.co.jp)